

北の蹄跡

November 2015



おめでとうございます

Congratulations!



ディサイファ

馬主 / H. H. シェイク・モハメド
生産牧場 / ダーレー・ジャパン・ファーム (日高町)

2015年8月23日(日)
札幌競馬場第11競走

「第51回札幌記念」

3歳以上・オープン・GII(国際)(指定)(定量) 芝 2000m 15頭立

ディサイファ 2009年4月20日生 牡・鹿毛・日高産

父	ディープインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンス (USA) 青鹿毛 1986	Halo
		ウインドインハーヘア (IRE) 鹿毛 1991	Wishing Well
母	ミズナ (USA) 鹿毛 2002	Dubai Millennium 鹿毛 1996	Alzao
			Burghclere
		Tribulation 鹿毛 1990	Seeking the Gold
			Colorado Dancer
		Danzig	
		Graceful Touch	

秋のGI競走を目指す馬たちによる最高峰GII「第51回札幌記念」は、晴れ、良馬場の札幌競馬場芝2000mの距離で15頭によって行われ、H. H. シェイク・モハメド所有の6歳牡馬ディサイファが好位置追走の積極的な競馬から、最後の直線では早めに先頭になって追い込み馬たちの追撃を抑え込んで優勝しました。

ディサイファは、日高町のダーレー・ジャパン・ファームの生産馬。大事に使われて4歳春に本格化。以降はGIII競走を2勝、そしてGII競走優勝と確実に実績を積み上げ、本年の中日新聞杯に続く重賞3勝目。通算成績を29戦8勝としました。



ゴールドシップ

馬主 / 合同会社小林英一ホールディングス
生産牧場 / 出口牧場 (日高町)

2015年5月3日(祝)
京都競馬場第11競走

「第151回天皇賞・春」

4歳以上・オープン・GI(国際)(指定)(定量) 芝・外 3200m 17頭立

ゴールドシップ 2009年3月6日生 牡・芦毛・日高産

父	ステイゴールド 黒鹿毛 1994	サンデーサイレンス (USA) 青鹿毛 1986	Halo
		ゴールデンサッシュ 栗毛 1988	Wishing Well
母	ポイントフラッグ 芦毛 1998	メジロマックイーン 芦毛 1987	デイクタス (FR)
			ダイナサッシュ
		バストラリズム 黒鹿毛 1987	メジロテイターン
			メジロオーロラ
		ブルラリズム (USA)	
		トクノエイティ	

古馬が最高の栄誉を懸けて争われる「第151回天皇賞・春」は、晴れ、良馬場の京都競馬場芝3200mを舞台に行われ、合同会社小林英一ホールディングス所有のゴールドシップが後方待機策から得意のロングスパート戦法でライバルたちを退けて先頭ゴールイン。3度目の挑戦で悲願の天皇杯を手中にしました。

ゴールドシップは、日高町の出口牧場の生産馬。3歳春の皐月賞でGI勝ち馬の仲間入りを果たすと強靱なスタミナとパワーを武器に日本のトップホースとして活躍。この勝利で6つのGIタイトル含み重賞11勝目。通算成績を26戦13勝としました。

札幌馬主協会会員所有馬の蹄跡…………… 2

特集 1. …………… 4
2015 年札幌開催回顧

コラム
ワールドウォッチング③④
「海外レース発売にあたって」合田直弘…………… 10
「安全な芝走路の導入を!」石川ワタル…………… 12

委員会だより…………… 14
札幌競馬場で馬場調査を実施
重賞競走の格付け管理について
ゴルフコンペ「愛馬会」開催
馬場浄め式
馬頭観音祭
会員研修旅行
施設等助成金目録贈呈式
会員懇親会
ホッカイドウ競馬で札幌馬主協会協賛競走を実施
札幌開催終了

愛馬談話室 國分純さん…………… 20
「人の心が繋がって札幌競馬場に熱い風が吹いた」

会員エッセイ 安原浩司さん…………… 21
「夏競馬の楽しみ方」

特集 2. …………… 22
「私の血統の基本と、私のセオリー」笠雄二郎

News&Topics…………… 28
各種せり結果／JRA 日高育成牧場が開設 50 周年
日本軽種馬協会がエスケンデレヤを導入

札幌馬主協会会員勝馬紹介 WINNERS…………… 37

道営だより…………… 45

JRA 後藤理事長に要望書を提出…………… 46

会員の異動／編集後記など…………… 47

札幌馬主協会会員所有馬は、中央競馬の歴史にしっかりと、その足跡を残し続けております。ここでは、2015 年の春シーズンに行われたGI競走勝ち馬、及び札幌競馬場開催における重賞競走勝ち馬を紹介させていただきます。優勝馬の関係者のみなさまに心よりお祝い申し上げます。



ウキヨノカゼ

馬主／國分純氏
生産牧場／ファニーフレンズファーム（日高町）

2015年8月30日（日）
札幌競馬場第11競走

「第10回キーンランドカップ」

3歳以上・オープン・GⅢ（国際）（指定）（別定）芝1200m 16頭立

ウキヨノカゼ 2010年3月30日生 牝・鹿毛・日高産

父	オンファイア 鹿毛 2003	サンデーサイレンス (USA) 青鹿毛 1986	Halo Wishing Well
		ウインドインハーヘア (IRE) 鹿毛 1991	Alzao Burghclere
母	アドマイヤダッシュ 鹿毛 2003	フサイチコンコルド 鹿毛 1993	Caerleon バレークイーン (IRE)
		シンコウエンジェル (USA) 鹿毛 1993	オジジアン (USA) A Kiss for Luck

サマースプリントシリーズの第4戦「第10回キーンランドカップ」は晴れ、良馬場の札幌競馬場芝1200mで16頭によって争われ、最後方からレースを進めた國分純氏所有の5歳牝馬ウキヨノカゼが3～4コーナーで一気に加速して前をとらえると、残り200m標識では早くも先頭に。そのまま先頭でゴールを駆け抜けました。

ウキヨノカゼは、日高町のファニーフレンズファームの生産馬。3歳春クイーンCに勝利したあと屈腱炎で1年9ヶ月に及ぶ長期休養を余儀なくされましたが関係者の努力と我慢の甲斐あって復活。重賞2勝目で通算成績を9戦4勝としました。

2015年 札幌開催回顧



当協会協賛の花が競馬場を彩った



開門前から長蛇の列



2年目を迎えたビュッフェの食材は日替わりで提供され、今年も好評だった



開門を待ちわびたファンがダッシュで思い思いの場所へ



4階馬主エリアは開催通じ賑わった



パドックはファンであふれた

示した大きな可能性

華々しいグランドオープンから1年。今年も北海道最大都市に蹄音が帰ってきた。2015年度の札幌開催開幕は8月1日。さわやかな初夏の風が吹き抜ける競馬場を舞台に9月6日までの2開催12日間で全144競走が施行され、21万1794人がライブ競馬を楽しんだ。

入場者数の1日平均は1万7650人。グランドオープンに沸いた前年対比では92・4%となったが、スタンド改築前の12年比では135%を記録。とくにフリーパスの日となった最終日には、札幌競馬の閉幕を惜しむかのよう3万7105人が来場し、競馬場の雰囲気を楽しんだ。売り上げは12日間で671億674万3200円を記録。1日平均55億9222万8600円は、昨年の53億6508万672円を超えるもの。全国の競馬ファンが札幌競馬を楽しんだことが数字の上からも示された。なお、場内売上は32億1376万5800円（1日平均2億2955万4700円）だった。

全開催日で勝利を記録

開幕初日。第4競走、第6競走、第7競走と惜敗を重ねた会員愛馬の初勝利は



今年もアンダルシアンホースショーが開催を盛り上げた



開幕週2日目第1レースを当協会会員所有馬が飾った



UMAJOカフェは競馬場の新しいスポットになった

第8競走芝1200m戦。ちょうど1年前の札幌開催でデビュー戦を飾った安原浩司氏所有のシンフォニア（牝3歳、栗東・昆貢厩舎）が直線外から力強く脚を延ばして優勝。このレースは当協会会員所有馬がワン・ツー・スリーと上位を独占。掲示板のうち4頭が会員所有馬で占められた。

翌日曜日は第1競走サラ2歳未勝利戦芝1200mで、H・H・シエイク・モハメド所有のボードレス（牝2歳、美浦・伊藤圭三厩舎）が先頭ゴールイン。この日は第10競走道新スポーツ賞で社台レースホース所有のセウアズール（牝4歳、栗東・松田博資厩舎）が、第12競走大通特別でサラブレッドクラブ・ラフィアン所有のマイネルオフィール（牡3歳、栗東・飯田雄三厩舎）が勝利して特別競走2勝。幸先のよいスタートをきった。

これらを併せて本協会会員所有馬は、全12日間すべての開催日で勝利を記録。特別競走7勝を含め、延べ29勝を記録した。内訳は、社台レースホースが4勝。H・H・シエイク・モハメドとサンコウ牧場が3勝。北所直人氏、秋谷壽之氏、ビッグレッドファームがそれぞれ2勝ずつをあげている。

伊藤正徳調教師が JRA通算500勝

8月8日、第1回札幌競馬3日目第7競走「3歳以上500万円下」ダート

2400m戦で、伊藤正徳調教師が管理するシツプウ（セ4歳、馬主・ヒダカ・ブリーダーズ・ユニオン）が勝利して、同調教師は1988年3月の開業以来、5378戦目で現役22人目となるJRA通算500勝を記録した。重賞はGI安田記念（99年エアジハード）などGI・2勝を含む22勝。同調教師は「たくさん馬主にさんに応援いただき、500勝を達成することができました。これまでの積み重ねが実を結んだ結果だと思っています。厩舎スタッフにも感謝しています。自分にできることを精いっぱい行い、1つでも多く勝って馬主に喜んでもらえるように今後とも頑張っていきたいと思います」と喜びを話している。

なお、9月5日の第4競走でシヨウナンハルカスが1着となり、同馬を管理する矢作芳人調教師（栗東）は現役43人目となるJRA通算400勝を達成。ほか、8月8日には菊川正達調教師が、8月22日には須貝尚介調教師がJRA通算200勝を達成した。

札幌記念はデイサイファ

JRAで行われる36のGI競走中、最高賞金を誇る札幌記念を制したのは本協会名誉顧問を務めるH・H・シエイク・モハメド所有のデイサイファ。デイサイファは、日高町ダーレー・ジャパン・ファーム生産の6歳牡馬。種牡馬ランキ



橋本マナミさんはキーンランドカップのプレゼンターも務めてくれた



篠原信一さんは札幌記念を制した四位騎手とがっちり握手



丸田騎手の300勝に家族もお応援に駆け付けた



招待ジョッキーの家族と在札幌米国領事館ジョエレン・ゴーフ主席領事が出席



札幌馬主協会会長賞は該当レースの馬主に寄贈される

ング首位を独走するデイープリンパクトと、オーナーが強い思い入れを持つと言われているドバイミレニアムを父に持つミズナとの間に生まれた3番仔。半兄には重賞2着6回のアドマイヤタイシがいて、祖母のトリビュレイションは米国のGI競走Qエリザベス二世チャレンジCなど5勝。近親のグラスワンダーはGI競走3勝という名血ファミリー。

これまでは未脚をいかすような競馬で良績をあげてきましたが、この日は積極的な競馬で早めに抜け出して先頭ゴールイン。騎乗した四位洋文騎手は「指示通りの騎乗ができましたし、こういう競馬ができるのなら秋が楽しみです」とパートナーの新しい一面に感心しきり。GI昇格を目指す札幌記念にとっても心強い勝利となりました。

キーンランドCはウキヨノカゼ

ウキヨノカゼ「浮世の風」とは、思うままにならない世の中の風潮やこの世界で経験するつらいこと。2歳秋に新馬戦を快勝し、重賞のフェアリースで同タイム2着。そしてクイーンCを快勝した同馬とは無縁の話のはずでした。しかし、好事魔多しの例えどおりに3歳春のクラシックを前に屈腱炎を発症。1年9ヶ月に及ぶ休養を余儀なくされ、復帰したものの、本来であれば格下相手の準オープン級で惨敗を重ねてしまいます。それで

も諦めなかったオーナーサイドは北海道シリーズでの再起を図り、その執念を裏らせるようにTVh杯で復活を遂げます。この日は、勝利したクイーンC以来の重賞出走。これまで重ねてきた我慢を末脚に込めるように勝利を掴み取りました。「前走よりも状態が良くなっていますし、長く良い脚が使える馬なので、自分のタイミングで仕掛けていきます」と四位洋文騎手は会心の表情でレースを振り返りながら、たくましさを増した愛馬を褒め称えていました。復活を遂げたウキヨノカゼは、オーナーの強い気持ちを追いつきに、3歳春に叶わなかったGI競走の舞台へと駒を進めます。

ワールドオールスター ジョッキーズは香港から参加の ジョアン・モレイラ騎手が優勝

ワールドスーパージョッキーズシリーズを受け継ぐ形になった「ワールドオールスタージョッキーズ」。8月28日には札幌市内のホテルで共同記者会見とレセプションパーティが行われ、翌日からの健闘を誓いあった。

そして迎えた第1戦。芝2600m戦で鮮やかな手綱さばきを見せたのは、金沢競馬から参加した藤田弘治騎手。シリーズ全般を通しては香港の「マジックマン」ことジョアン・モレイラ騎手と、このシリーズに強い意欲を示していた日



ファンのサインに応じるヘイリー・ターナー騎手



ジョアン・モレイラ騎手と武豊騎手のプライドが激突したワールドオールスタージョッキーズ第3戦



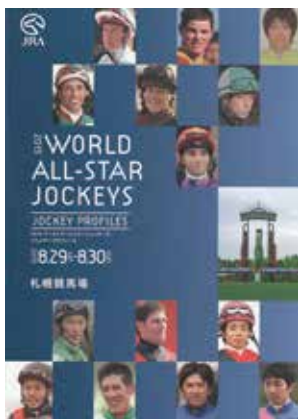
JRA-VANのイメージキャラクターを務める藤原竜也さん



健闘を誓い合う出場ジョッキーたち



個人優勝のモレイラ騎手は喜びを爆発させた



来場者に配られたプロフィールブック



レセプションパーティに先だって行われた共同記者会見で健闘を誓い合った

本の武豊騎手の意地とプライドが激突するような形で進化した。

初日2戦を終えてリードしたのは2、1着のジョアン・モレイラ騎手。これに對して武豊騎手も5、2着と応戦。翌日曜日の第3戦は積極的にレースを運んだ武豊騎手騎乗のフェアファイネが抜け出したところ、インコースに進路を取ったジョアン・モレイラ騎手騎乗の1番人気ブラヴィツシモが強襲。ハナ差交わして場内をうならせた。個人総合優勝が2人に絞られた第4戦は、武豊騎手が全レース掲示板確保となる5着とポイントを重ねて意地を見せたものの、2勝2着1回のジョアン・モレイラ騎手に6ポイント及ばず2位。「第3戦のハナ差が」と同騎手を悔しがらせた。第4戦を制したのは英国代表として参加した女性ジョッキーのヘイリー・ターナー騎手騎乗のウインフェニックスだった。

なお出場騎手を「外国騎手・地方競馬代表騎手チーム(WAS選抜)」と「JRA代表騎手チーム(JRA選抜)」に分けて行われた対抗戦の結果は、確実にポイントを重ねたJRA選抜チームが全4勝をあげたWAS選抜を2ポイント抑えて優勝。武豊騎手は「JRA選抜のみならずひとつでも上の着順を目指した結果だと思います。個人戦で優勝できなかったのは残念ですが、今回初めて行われたチーム戦で勝つことができて良かったです」とコメントした。

プログラムの目でパドック解説

札幌競馬場と札幌馬主協会が企画、協力して行われた2歳戦のみどころ解説「マスターズ・アイ」も好評だった。これは札幌競馬の2歳戦（重賞競走、特別競走、日曜日の新馬戦）のパドックに日本を代表するホースマンが登場。パドックの2ヶ所に備えられた指向性スピーカーで勝ち馬予想とは異なる「みどころ」を話してもらおうというもの。社台ファーム代表吉田照哉氏や、岡田スタッド代表の岡田牧雄氏など当協会会員含め、14人のホースマンがパドックで2歳戦の楽しみ方からパドックを歩く馬を見るポイント、牧場での評価や種牡馬の解説などを行った。

期間中、3度解説を行った岡田牧雄氏は「ファンの底辺を広げるとい意味で良い企画だと思います。今年の札幌開催における2歳戦はレベルが高く、来年のクラシックを賑わせてくれる馬が必ずいるはず。こういう企画を通して競馬や競走馬を点ではなく、線で見てもらえることができれば競馬に対する理解は深まるはず」と総括した。

ネオユニヴァースが来場

第2回札幌競馬5日目となる9月5日、札幌2歳ステークス当日の最終レー



好評だった「パドック解説」マスターズ・アイ。第1回の解説者、左から、下河辺隆行氏、吉田哲哉氏、村本浩平氏



札幌競馬場リーディングジョッキーは2年連続で福永祐一騎手



08年以来、7年ぶりの札幌競馬場に興奮気味のネオユニヴァース

ス終了後、現役種牡馬ネオユニヴァースがパドックでお披露目された。

ネオユニヴァースは2000年生まれの15歳。現役時代は13戦7勝。サンデーサイレンス直仔として初めて皐月賞、日本ダービーの春2冠を制した馬で、03年のJRA賞最優秀3歳牡馬。現役引退後は社台スタリオンステーションで種牡馬入りすると、その能力を産駒に伝え、初年度産駒からアンライバルド、ロジユニヴァースの活躍で皐月賞、ダービーの父仔制覇を記録。さらには2年目産駒ウイクトワールピサが皐月賞、有馬記念、そしてドバイワールドCに優勝するなど活躍の場を世界に広げている。また、札幌競馬場との相性も良く、ロジユニヴァース、ブライトエンブレム、オールドアワンの3頭が札幌2歳ステークスに勝利している。

2004年に札幌競馬場で引退式を行ったネオユニヴァースの種牡馬展示は08年に続いて2度目。久しぶりの競馬場パドックでやや興奮気味に登場した同馬に、管理する社台スタリオンステーションの角田修男場長は「数多くいるサンデーサイレンスの後継種牡馬の中で生き残っていくためにも、自分の子供たちに負けないように活躍馬を出し続けてほしい」とエールを送っていた。

札幌開催リーディングは 福永祐一騎手

12日間144競走を終えて、もつとも多くの勝利数を記録したのは福永祐一騎手（38歳Ⅱ栗東・フリー）。第1回札幌競馬初日から参戦した同騎手は、全12日間で、11日に参戦。開幕日のメイン競走TVh杯をケイティープライドで勝利するなど19勝をあげて、2年連続2回目の札幌リーディングジョッキーに輝いた。

また、同騎手は第2回札幌競馬2日目の第7競走においてヴェネット（牡3歳・藤原英昭厩舎）で1着となり、中央競馬史上10人目、現役では6人目となるJRA通算1800勝を達成した。

「1800勝という記録は支えてくれた多くの人のおかげだと思っています。すべての面で後輩の手本にもならなければと思っていますし、応援してくれるすべての人のために、もっと応援したいのである騎手になっていきたいと思っています」とコメント。また、2年連続の開催リーディングに関しては「札幌競馬場はお客様も多いですし、距離感も近く、声援も暖かいです。僕にとって最高の競馬場。来年もまた来たいと思います。現状に満足することなく、より高みを目指して、騎手仲間みんなで切磋琢磨して競馬をより盛り上げたいと思いますので、今後も応援よろしくお願いします」と競馬場をあとにした。



最終日には恒例の馬場開放



丹頂ステークスを制した池添騎手と最終日を盛り上げたお笑い芸人3人組のロバート

札幌競馬開催成績

		天候	入場人員	内女性数	構成比	発売金	札幌場内発売金	構成比
第1回札幌競馬	1日	晴	12,470	2,941	23.6%	4,151,220,900	198,857,100	4.8%
	2日	晴	19,468	5,478	28.1%	6,132,142,500	295,425,100	4.8%
	3日	晴	10,868	3,832	35.3%	3,976,165,900	174,282,100	4.4%
	4日	晴	15,004	4,245	28.3%	4,948,339,100	248,583,100	5.0%
	5日	雨／曇	11,334	3,086	27.2%	4,607,810,600	226,783,600	4.9%
	6日	晴／雨	16,133	4,876	30.2%	6,706,402,200	257,815,300	3.8%
	6日合計			85,277	24,458	28.7%	30,522,081,200	1,401,746,300
第2回札幌競馬	1日	晴	13,259	3,765	28.4%	4,234,439,100	205,865,400	4.9%
	2日	曇／晴	26,398	7,374	27.9%	9,123,109,100	415,527,700	4.6%
	3日	晴	13,748	3,348	24.4%	4,686,233,500	225,948,600	4.8%
	4日	晴	19,647	5,573	28.4%	8,081,308,100	303,192,800	3.8%
	5日	晴／小雨	16,360	3,720	22.7%	5,359,369,800	286,340,800	5.3%
	6日	晴	37,105	7,986	21.5%	5,100,202,400	375,144,200	7.4%
	6日合計			126,517	31,766	25.1%	36,584,662,000	1,812,019,500
12日合計			211,794	56,224	26.5%	67,106,743,200	3,213,765,800	4.8%



海外レース馬券 発売にあたって

身近になった
海外レースだが…

4月24日に開かれた衆議院本会議で、改正競馬法が全会一致で可決され、統括団体である日本中央競馬会は今後、自らが主催者ではない競馬の勝ち馬投票券も売ることができるようになった。これによって、かねてから競馬ファンから要望が出ていた、海外ビッグレースの馬券を売れるようになったのである。馬券を買えるようになることをきっかけにして、新たに海外の競馬に関心を持つ人が増え、更には、その背景にある海外の競馬文化に対して理解を深める人たちが多くなっていただければ、幸いに思う。



フォワ賞2連覇のオルフェーブル ©フォトチェスナット

ことだが、私の周辺の、ことにメディアのエリアには、早くもこの競馬法改正がもたらす効果が現れはじめている。

例えば、10月にフランスで行われたG1凱旋門賞。近年は日本馬の参戦が当たり前のようになってきているこのレースだが、今年は第1次登録を行った馬たちに故障が相次ぎ、09年以来6年ぶりに「日本調教馬の参戦がない凱旋門賞」となってしまった。それにも関わらず、CS

の競馬放送局グリーンチャンネルは、この模様を現地ロンドンと衛星回線で結んで生中継を行った。そして、若干のデイレイではあったが地上波の関西テレビもまた、日本馬のいない凱旋門賞を中継したのである。

グリーンチャンネルは開局以来、海外の競馬を題材とした番組を積極的に放送してきたが、ビッグレースの中継に関して言えば「G1勝ち実績がある馬が遠征した場合、その競走を生中継する」という不文律が存在していた。海外のレースを放送するには、当然のことながら放映権を取得しなければならず、ことに「ライブ」となると「デイレイ」よりは権利金が高くなるのが通例で、何でもかんでも中継するというわけにはいかないのだ。そういうわけで、不文律



海外競馬解説者

合田直弘

【著者略歴】

1959年 東京都出身。海外競馬解説者

慶応大学卒業後、テレビ東京に入社。「土曜競馬中継」「馬・疾風ロマン」などの製作を担当。のち、1988年に同社を退社し、(有)リージェントを設立。テレビ、新聞、ラジオ、雑誌などで海外競馬の解説を行っている。現在、NHK衛星放送「世界の競馬」グリーンチャンネル「地・中・海ケイバモード」「海外競馬ジャーナル」などに出演。

に従って中継する競走が選択されてきたわけだが、時には、中継しなかったレースで日本のファンが見たかった光景が展開される、という事態も生じていた。その最たる例が06年5月のシンガポール国際Cだ。この年、日本から参戦したコスモバルクはG1勝ち馬ではなかったため、地方所属馬による初の海外G1制覇という歴史的快挙は、日本に生中継されなかったのだ。コスモバルクは非常にファンの多い馬だっただけに、筆者のもとにも「なぜ中継しなかった」と、お叱りの声が続々と届けられたものである。

フルゲート30頭に 対応できるシステムを構築

日本馬のいない凱旋門賞を生中継するというのは、グリーン

チャンネルにとっては画期的なことだったのだ。しかし今後は、日本馬の参戦があつた場合、馬券を売る以上は出走する馬がG1勝ち馬でなくとも中継しないわけにはいかず、そうした時代の変化に対応する準備として、日本馬のいない今年の凱旋門賞を中継したものと理解している。競馬法が改正されたのだから、速やかに海外レースの馬券発売を始めて欲しいという声もファンの間からは出てくるが、そのためには相応の準備期間が必要なこともご理解いただきたい。

例えば、英国王室が所有するアスコット競馬場の直線コースを舞台とした競走では、フルゲートが30頭に設定されている。日本の競馬では現在、最大でもフルゲートは18頭だから、

実際にそこまで多頭数の競馬を
売る可能性は低いにしても、
トータリゼーターのシステムは
30頭の単勝馬券を売れるように
整備しておく必要がある。

出走予定馬の当日取消は 日常茶飯事

そして、馬券を売る側だけで
はなく買う側にも、海外のレー
スに慣れるための準備が求めら
れている。言葉を変えれば、日
本と海外では競馬の仕組みに違
いがあることを、馬券を買う
ファンも知っておく必要がある
のだ。例えば、その時の馬場
状態が出走取消の理由になるこ
とが、海外ではしばしばある。

今年7月25日にアスコット競
馬場で行われた、欧州12F路
線の前半の総決算GIキング
ジョージ6世&クイーンエリザ
ベスSは、デビューから無敗
で英ダービーを制した後、古馬
との初対決となったG Iエク
リプスSも快勝していたゴー
ルデンホーンが、前売りで圧倒
的1番人気に支持されていた。
ところが、前日から当日朝にか
けて競馬場周辺には35ミリの雨
があり、馬場状態はSoft(=重
馬場)に悪化。ゴールデンホー

ンは道悪が得意ではなく、同馬
を管理するジョン・ゴスデン調
教師が当日の午後1時に馬場を
歩いた上で、出走を取り消すこ
とを決めた。ビッグレースの大
本命馬が、発走3時間前に忽然
と消えてしまったのである。

8月19日にヨークで開催され
たG IインターナショナルS
でも、同様のが起きた。前
日来の雨で馬場状態はGood to
Soft(=稍重)になり、今季こ
こまでG I・3連勝中だった
グレンイーグルスが、やはり管
理調教師のエイダン・オブライ
エンが午後1時に馬場を歩いた
上で、出走を取り消した。グレ
ンイーグルスは愛国調教馬で、
馬は海を越えてヨーク競馬場に
到着していたのに、出走しな
かったのである。
馬場が渋った、だけではなく、
馬場が乾いて固くなった、とい
う理由で有力馬が出走を取り消
すことも、日常茶飯事である。
これを興奮めと見るファンも
いるであろうし、せっかく買った
馬券が払い戻しになるケース
も多々出てくるであろうが、そ
ういうものだと理解して、諦め
ていただくしかないファクター
であろう。

出馬表にいない馬が 勝利するケースも

出走予定の馬が突然いなくな
るなら、まだいい。当初は予定
になかった馬が急遽出走してく
るケースも、海外では起こりう
る。

海外には、Also Eligible(AE)
の制度を導入している競馬主催
者が少なくない。AEとは、
端的に言えば補欠馬のことだ。
フルゲートを超える登録があつ
た場合、何頭かを補欠馬として
認定しておき、枠順決定後に取
り消す馬が出た場合、優先順位
に従って補欠馬が繰り上がった
出走するのである。

今年の春には実際に、日本調
教馬が出走したレースでこの事
例が起きている。4月4日に豪
州ランドウィック競馬場で行わ
れたG Iドンカスターマイル。



キズナはニエユ賞を勝って本番へ駒を進めた
©フォトエスナット

日本から、リアルインパクトと
ワールドエースが参戦していた。
フルゲート20頭のところ、こ

れを越える登録があつて除外馬
が出たのだが、主催馬は4頭を
補欠馬に指定。枠順確定後に、
モリアーティとイツツサムホ
ワットの2頭が馬場悪化を理由
に出走を取り消したため、補欠
の1番だったスワイネッセと、
補欠2番のカーマデックが繰り
上がりで出走することになった。
そして皆様ご存知のように、
前走のジョージライダーSに
続くG I連勝を目指していた
リアルインパクトを2着に退け
て見事に優勝を飾ったのは、補
欠から土壇場で出走に漕ぎつけ
たカーマデックであった。すな
わち、馬券を売り始めた段階で
は出走表にいなかった馬が、出
てきただけでなく勝ってしまった
のである。補欠馬の単勝馬
券をどういう形で売るかは、
JRAにとって解決しておか
なくてはならない課題の1つで
あろう。

「その他の馬」という 単勝馬券

出るか出ないかわからない馬
については、これを「その他の

馬」としてひと括りにして単勝
馬券を売る、というのが1つの
解決策になる。出走するかわ
からない馬の単勝を、しかも複
数の馬をひとまとめにして売る
とは、「なんと乱暴な」とお感
じになるファンも多いと思う
が、実はこれも海外では実際に
行われていることである。

例えば、ケンタッキーダー
ビーを主催するチャールダウ
ンズが、前年の11月からその年
の3月にかけて4回にわたって
催している「フューチャー・ウエ
イジャー」という名の前売り馬
券がある。それぞれの段階で有
力と目される23頭を抽出して単
勝を売るのだが、23頭のセレク
ションに漏れた「その他の馬」
たちが「フィールド」と称され
る24番枠に一括りにされ、単勝
馬券を売っているのである。そ
の他のどの馬が勝っても、24番
の単勝馬券を持っている人は的
中なのだ。

ことほど左様に、海外には日
本のファンには馴染みのない仕
組みや習慣がたくさんある。海
外馬券の発売開始までに、様々
な機会をとらえて日本の競馬
ファンの皆様にご紹介できたら
と考えている。

安全な芝走路の導入を！



石川ワタル

【著者略歴】
1947年 愛知県出身。競馬評論家。

海外の競馬に精通し「優駿」誌上で海外ニュースを担当。凱旋門賞を初めて観戦したのは1975年。以来、日本の馬が勝つことを信じて毎年のように足を運んでいる。おもな著書に「石川ワタル、世界をワタル」「石川ワタルの世界ワンダーホース列伝」（ともに東邦出版）「石川ワタルの競馬理論」（自由国民社）

名馬が次々と消えていく

「今年は故障馬が多いですね」

と、横浜のエリート・サラリーマン、Sさん。競馬歴はまだ10年足らずだが、あつという間にコアなファンとなり、定期的に北海道の牧場巡りを始めてもう5、6年になる。この9月末のホームパーティーにお呼ばれしたら、季節がら凱旋門賞の話になつて、

「今年日本の馬がいなくて淋しいね」とも。

2冠馬ドウラメンテ以下、精鋭5頭が登録を済ませたのに、故障や体調不良で1頭また1頭と脱落し、6年ぶりの「日本馬不在」となつてしまった。

とにかく今年の日本は、トップホースの故障や不調が目立ち

すぎる。ドウラメンテ、ハーブスター、エピファネイア、ワンアンドオンリー、トーホウジャツカル、キズナ……。事ここに至つてみると、他のところでも触れたが、これはもう時計が速すぎる日本の馬場のせいとしか思えない。

名馬が次々と消えていく……。それはファンの競馬離れに拍車をかけることになりかねず、日本の競馬の未来にかかわる重大事である。JRAは事態を深刻に受け止め、具体的な打開策を講じる必要がある。

時計が速いことと故障の因果関係はない——とする説がある。JRAはその見方にくみするのだから、故障馬続出の今年の状況をみたら、もうそんなのんきなことを言っている場合ではない。時計が速いことと

故障には、明らかに因果関係がある！

レコード至上主義の宿命

アメリカでは今年前半、世界ランク当時1位タイのシエアドビリーフと、昨年の年度代表馬カリフォルニアクロームが故障で戦列を離れた。このようにアメリカでも名馬の故障は珍しくないが、それはやはり、日本の芝並みに速い時計をダートで要求されるアメリカ競馬の宿命なのだろう。

JRAは数年前からシャタリング機を導入し、馬場は以前より柔らかくなったとされる。JRAの馬場造園課に聞くと、目指しているのは馬場を柔らかくすることであつて、時計がかかるようになることではないと。

そしてまさにその通りの事態が進行している。馬場が柔らかくなったのはいい。しかし、それで有力馬の故障は少なくなるどころか、増えているのはどういうことか。

今年のダービーは2分23秒2というレースレコードの決着となり、勝つたドウラメンテと2番人気で4着のリアルステイアが故障した。昨秋の菊花賞は3000mの日本レコードすら1秒5も短縮する驚愕のタイムとなり、それを快勝したトーホウジャツカルは、いま不調にあえいでいる。大一番の菊花賞を速すぎるタイムで走つた反動としか思えない。

JRAの目指す方向性に疑問がある。少しくらい馬場を柔らかくしても故障馬は減らないのだ。そうであるなら、以前か

ら言われているもう一つの懸念に目を向けるべきである。そう、時計が速すぎることを改善すべきなのだ。

大きすぎる 高速決着の代償

ここ数年のダービー馬を見るだけで、一つの傾向が見て取れる。

4年前のダービーは時計のかかる不良馬場で行われ、それがかえつて良かったのだから。そのダービーを勝つたオルフェーヴルはその後も長く活躍を続け、近年最高の名馬となつた。

3年前のダービーをこの10年で2番目に速いタイムで勝つたディープリランテは、菊花賞を前に屈腱炎で引退した。2年前のダービー馬キズナは、その印象的な馬名もあつてファンの



整備された札幌競馬場の芝コース。2014年は全国平均を下回る事故率だった

多い馬だが、4歳春の天皇賞で骨折し、5歳秋のつい先日、右前繋部浅屈腱炎で引退した。そして昨年のダービー馬ワンアンドオンリーは、昨秋の菊花賞以降、7戦のうち6戦で6着以下というありさま。

一昨年と昨年のダービーは、この10年で3番目と5番目に速い2分24秒台半ばの決着だった。まだ馬体が出来上がっていない3歳春の馬にとって、これ

でも十分に負担が大きすぎる速いタイムだ。そんな高速馬場で一杯に走ったことが、その後のレースで精彩を欠く大きな要因になったのだろう。

スターホースが長く 現役を続けられる競馬に

欧州や香港のトップホースは、日本の馬ほど故障しない。それはなぜかと言えば、クッションのきいた時計のかかる馬

場で競馬が行われているからだ。それ以外に正解は思いつかない。この日本に、自然の地形をいかした英国のような馬場を求めても無理だが、香港型の適度に時計のかかる馬場なら、その気になりさえすれば、すぐにも導入可能である。

香港のGIは1600mで1分34秒台、2000mで2分02秒台、2400mで2分27秒台となることが多い。香港と日本では、トップホースの実力はほとんど互角なのに、日本よりも時計がかかっている。しかもこれは古馬のGIである。3歳春の日本ダービーが、いかに常識外れの速いタイムであるか、分かるうというものだ。

いまJRAがすべきは、柔らかい馬場造りではなく、適度に時計がかかって馬に優しい馬場、すなわち故障の少ない安全な馬場を導入することだと思う。それこそは「日本の競馬100年の計」の第一条とすべき大事である。菊池寛のいう通り、「無事これ名馬」である。そして名馬が次々と故障するよ

る香港の馬場は、路盤の表層にポリプロピレンのメッシュ（5×10センチの網状繊維）を混入させたストラスエア走路である。

ストラスエア走路に注目

これはオーストラリアで開発された芝システムであり、今や世界各地で導入されている。香港のシャティン、ハッピーヴァーレーの両競馬場や、シンガポール唯一の克蘭ジ競馬場、豪州最大馬齢戦のコックスプレートが行われるムーニーヴァーレー競馬場（メルボルン郊外など）。

競馬場以外でも、ラグビー・ワールドカップの舞台となったサンコープ・スタジアム（ブリスベン）、アデレードユナイテッド（サッカー）の本拠地クーパーズスタジアム、さらにシドニー・クリケット場など豪州各地の競技場で使われ、またインドのコモンウェルス競技場（デリー）にも敷設されている。

日本でも1996年に一度、福島競馬場の発馬ゲート付近と3〜4コーナーにかけて試験的に導入された。しかし、すぐに表層が掘り返されてメッシュが飛び散り、使い物にならなかつ

たと聞いている。

それには明白な理由がある。JRAの芝コースは、路盤の下部から単粒碎石層、山砂とバーク（杉の皮）の層、その上に山砂という構成になっている。96年当時は多少違っていたとしても、この種の排水第一の路盤の表層にメッシュを入れても芝は根付かないだろう。

ストラスエア走路には、それ専用の路盤がある。最下部に粘土の層があり（ここに排水管がある）、その上に砂礫、砂の各層がある。さらにその上にメッシュ混入の表層があつて、その上に芝が敷き詰められる。芝の種類だけは、その土地の気候に適したものが選別されるが、それ以外の路盤のシステムはすべて均一だという。

走路の弾力と排水の良さもストラスエアの特長のひとつ。熱帯の豪雨があつても、コース冠水にはならず、一度として競馬が中止されたことはないそうだ。ストラスエア走路は、日本でも必ずや優れた走路として、競馬関係者やファンの絶大な支持を取り付けるに違いない。JRAの決断ひとつで、日本の競馬が生まれ変わるのだ。



開幕を前に、馬場調査を実施

全国平均を下回った14年開催

1年ぶりの開催を10日後に控えた7月22日、札幌競馬場で渉外委員会による馬場調査が行われた。

この日は、当協会理事会も開催されたことで渉外委員会委員のほか、理事も参加。良好な芝コースの状態を確認した。

冒頭、下河辺会長のあいさつのもと、植田克己場長から前年同時期で60頭多い220頭が札幌競馬場に入厩していることや、この日



良好な芝、ダートコースを実際に歩いて確認した

から解禁となった本馬場調教で、厩舎から好評を得ていることなどが報告された。

馬場造園の東良剛専門役からは、14年度札幌開催は芝コースにおいて全国平均を下回る事故率だったことや、12年度対比でダートコースの事故率が減少したことなどが報告された。さらに事故を減らすために、「ダートコースの砂厚（厚さ90mmで管理）について、ばらつきが±5mmの範囲に収まるように努力している」ことなどの説明を受けた。

また、馬場管理に関して「均一性」「平坦性」「クッション性」を3本の柱としてコース内側の芝張替作業、ならびにバーチドレン作業、シャタリング作業を実施したことや、ダートコースの路盤損傷個所の補修工事ならびにクッション砂の洗浄作業などを行ったことなどが報告された。

そのあと、出席委員らは芝コースを視察。芝コースの感触を確認した。
（渉外委員会）

事故発生状況

		芝コース			ダートコース			合計		
		事故頭数	出走延頭数	事故率	事故頭数	出走延頭数	事故率	事故頭数	出走延頭数	事故率
札幌	2012	19	1,155	1.65%	21	966	2.17%	40	2,121	1.89%
	2013	未開催								
	2014	13	1,233	1.05%	17	931	1.83%	30	2,164	1.39%
全国	2012	337	23,849	1.41%	483	24,328	1.99%	820	48,177	1.70%
	2013	292	24,291	1.20%	412	24,063	1.71%	704	48,354	1.46%
	2014	279	24,257	1.15%	396	24,376	1.62%	675	48,633	1.39%

「重賞競走の格付け管理について」学ぶ

札幌開催を間近に控えた7月22日、当協会主催「重賞競走の格付け管理」に関する講習会が、JRA札幌競馬場会議室で行われた。出席したのは下河辺会長以下13名の役員。講師を務めていただいたのは、JRA日本中央競馬会競走部番組企画室の奥田裕之専門役。重賞競走における格付け基準やレーティング算出方法など、普段は見過ごしてしまいがちな部分を掘り下げてお話しいただいた。

下河辺会長は冒頭で「札幌馬主



JRAの専門役から説明を受けた

後半では、競走馬の能力を示す世界共通の客観的な数値「レーティング」は、基準となる数字と競走内容によって、総合的に判断されることなどの説明を受け、具体的な例を挙げながら上位4頭の平均から導かれるレースレーティングの算出方法などを学んだ。

講習終了後の質疑応答では、現在行われている36のGⅡ競走のなかで毎日王冠、京都記念、大阪杯、京都大賞典、阪神大賞典などがレースレーティングでいうところのGⅠ昇格の基準をほぼ満たしていることが報告。「ただし、レースレーティングを満たしているからすぐにGⅠ昇格ではなく、競走体系を考えてGⅡにとどめているのが現状」と回答。これに対して委員からは「例えば、ヨーロッパとアメリカ、オーストラリアではGⅠ競走に対する考え方が全く違う。馬券を売るための興業に徹すればGⅠ競走は多い方がよく、それは結果的にせり名簿では有利に働くことなども考慮して欲しい」などという意見も出された。

下河辺会長は「3年間の平均と直近年度の両方でレーティングを満たすことが（GⅠ昇格に）求められています。ご協力いただきました」と講習会を締めくくった。

54人が参加愛馬会 優勝は荻野琢磨騎手

恒例となっているゴルフコンペ「愛馬会」が8月10日、千歳市のザ・ノースカントリー・ゴルフクラブで開催された。

やや雲が多かったとはいえ、過ごしやすい天候の中で行われたゴルフコンペには下河辺会長も駆けつけたほか、吉田事業サービスマン長など当協会会員、家族のほか飯塚知一新潟馬主協会会長も参加。ほか

横山典弘騎手、C.ルメル騎手、藤沢和雄調教師、札幌競馬場の植田克己場長など昨年を大きく上回る54人が参加。和気あい

あいとした雰囲気の中にもダブルペリア方式でアウト、イン18ホールで真剣勝負が繰り広げられ



多くのジョッキーも参加して、共通の趣味で親交を深めた



優勝した荻野琢磨騎手に宮永副会長からトロフィーが手渡される

ました。

優勝はアウト37、イン40（ハンデ8・4）で68・6のスコアを記録した荻野琢磨騎手。同じくアウト41、イン42（ハンデ12）で71・0の加藤和宏調教師が準優勝となりました。ベストグロス賞はイン37、アウト39でまわった四位洋文騎手。

プレー終了後には秋谷事業サービスマンから成績発表があり、順位賞ほかニアピン賞やドラゴン賞など盛りだくさんの賞品が入賞者に手渡されました。

（事業サービスマン委員会）

名馬たちの冥福祈る 馬頭観音祭

札幌競馬場パドック横に祀られている馬頭観音において、7月29日、名馬たちの冥福を祈る馬頭観音祭が行われ、札幌競馬を賑わせてくれた数々の馬たちの冥福を祈った。

レースに出走する馬たちを見守るように建立されている馬頭観音には、開催期間中もその存在を知るファンが手を合わせるシーンを目にすることも多い。慰霊祭には下河辺会長、藤原副会長はじめ植田克己札幌競馬場場長、柏田秀治

愛馬の安全を願う 馬場浄め式を開催

札幌競馬の開幕を目前に控えた7月29日、愛馬の安全と無事を祈願する「馬場浄め式」が競馬場ウイナーズサークルで執り行われた。



人馬の安全を祈願する馬場浄め式

式には下河辺会長、藤原副会長はじめ植田克己札幌競馬場場長、柏田秀治同副会長、東良剛専門役のほか厩舎関係者らも出席。札幌市内三吉神社の佐藤元昭権禰宜の執り行う神事に従って祝詞を奏上し、玉串を奉納。愛馬の安全と活躍、そして札幌競馬の安全施行を祈願した。

グラントオープンを迎えた昨年の札幌競馬では芝コース、ダートコースともに事故率が大きく軽減。15年シーズンも事故の少ない、活気ある開催となることなどが祈願された。（協会運営委員会）

馬頭観音祭

同副場長らが参列。真言宗豊山派成田山不動院の門屋憲明住職の神事のもとで、功労馬たちの冥福と愛馬たちの無事と活躍、開幕を直前に控えた札幌競馬の繁栄を祈願した。自身も競馬ファンだという門屋住職は「素晴らしい施設のなかで行われる札幌競馬は馬が元気で走り、たくさんファンが競馬場に足を運び、素晴らしい競馬が開催されることを祈願します」とあいさつした。（協会運営委員会）



名馬の冥福を祈り、更なる繁栄を祈願した馬頭観音祭

会員研修旅行は高知競馬観戦 夜さ恋ナイターを堪能



高知城をバックに全員で記念撮影

平成27年度会員研修旅行は、初めて地方競馬場の高知競馬を観戦しました。今回、参加いただいたのは会員29名、会員家族19名の48名。9月22日から24日までの2泊3日のスケジュールで競馬観戦と高知市、松山市などの研修・観光を楽しんでいただきました。

高知競馬の歴史は明治19年に高知・徳島国道開通の余興として、円形600mの馬場を作り競馬を開催するのが最初とされています。途中、廃止の危機などもありましたが、昭和60年に新競馬場を開設したのち、平成21年からは温暖な気候を利用した通年ナイター開催に移行し、全国地方競馬では唯一、年間を通してナイター競馬が開催されています。

22日昼過ぎに高知到着した一行は、高知市内を經由し一路坂本龍馬像のある桂浜へ、シルバークイークのこともあり予定より1時間ほど遅れての到着となりましたが、足早に観光後、高知競馬場へ移動し4Rよりでナイター競馬観戦、5、6Rには協賛レース「札幌



短い時間ではありましたが夜さ恋ナイターを堪能しました

幌馬主協会特別「よさこいソーラン特別」が行われ、その際には場内アナウンスによる暖かい出迎えをいただき楽しく競馬観戦をしました。そして夕食は高知代表料理「皿鉢料理」を堪能し1日目を終えました。

翌日は、「高知城」を見学。地元可愛られている「ひろめ市場」にてお土産などをショッピング。バスにて平家の里といわれる祖谷温泉郷へ、かずら橋では揺れる橋をスリリングに堪能し、昼食は徳島の郷土料理「でこまわし（さといもの味噌田楽）」や「あめご（ヤマメ）塩焼」などを賞味し、松山市「道後温泉」へ移動し、温泉などで長旅の疲れを癒しました。

最終日は、夜半から雨となり予定を変更し一行は「伊予かすり会館」へ、天然藍染めを体験し各々の図柄で染められた作品を制作し持ち帰りました。外へ出ると天候が回復、急遽「松山城」へ。限られた時間の中、ロープウェイとリフトに分乗し協力し合いながら時間を短縮、無事時間内で観光を終え、途中昼食を頂きながら出発45分前に松山空港へ到着。羽田経由で全員無事帰路につくことができました。（事業サービス委員会）

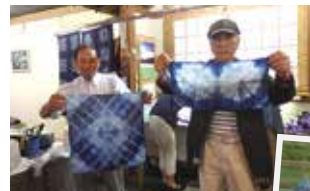


平家一族の哀話を秘める秘境祖谷「かずら橋」は14mの高さにあります



カツオのたたきに舌鼓を打ちました

親睦を深め、地方競馬を理解する研修旅行となりました



伊予かすり会館では藍染めも体験しました

札幌馬主協会特別は永森騎手騎乗のリワードセロンが逃げ切り勝ち



桂浜にて。坂本龍馬像は台座を含めると13.5m。太平洋を見つめています



札幌馬主協会協賛レースを観戦

公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団
平成27年度施設等助成金目録贈呈式

22法人・施設へ
2386万円を助成

公益財団法人中央競馬馬主社会

福祉財団（佐藤浩二理事長） 札幌

馬主協会関係分の平成27年度施設

等助成金目録贈呈式が10月15日、

札幌競馬場で行われた。式には札幌

馬主協会の宮永、藤原両副会長

ほか、上水社会貢献委員長、鎌田副委員長など同委員会委員らが出席。

宮永副会長は

「助成事業は、賞金の一部を財団に積み立てたもので、今年で47年目を迎えます。札幌馬主協会としても、これまでに1245件、56億1700万円の助成を行っており、今年も22件への助成を決めたところでございます。不十分などとも思いますが、よろしくご理解ください」とあいさつ。

（社会貢献委員会）

続いて、上水委員長から札幌馬主協会関係分の助成金割当決定にいたる経過が説明され、藤原副会長から22の法人、施設の各代表に対して総額2386万円の助成金目録が贈呈された。



贈呈式は、競馬場の馬主エリアで行われた

（社会貢献委員会）



札幌競馬場植田克己場長



中央競馬馬主社会福祉財団の今田敦夫事務局長



北海道共同募金会常務理事、天羽啓事務局長

平成27事業年度 施設整備等助成金交付先一覧

法人名	所在地	施設名	助成物件
1 (福) 藤の園	樺戸郡月形町	月形藤の園	福祉車両
2 (福) 新冠ほくと園	新冠郡新冠町	ミルト	パン発酵機
3 (福) ふくろう会	新冠郡新冠町	おうらの郷	送迎用車両
4 (福) 柏の里めむろ	河西郡芽室町	オークル	暖房エアコン設置工事
5 (特非) 大樹職親会	広尾郡大樹町	ほっと	送迎用車両
6 (福) 愛和福祉会	札幌市北区	慈徳ハイツ	特殊浴槽
7 (福) 悠生会	札幌市北区	白ゆりあいの里	福祉車両
8 (福) 共生会	札幌市西区	札幌福祉印刷	自動無線綴機
9 (福) 札幌市西区社会福祉協議会	札幌市西区	山の手会館	テーブル・椅子
10 (福) 北翔会	札幌市白石区	札幌あゆみの園	福祉車両
11 (特非) 地域生活支援グループ・共働友楽舎	札幌市北区	ありすくらぶ	ソフトクリーム製造器
12 (特非) はぐくみ会	札幌市北区	北区はぐくみ	送迎用車両
13 (特非) グループホームいちご畑	旭川市	グループホームいちご畑	屋根・外壁舗装工事
14 (特非) 双葉福祉会	旭川市	ふたば	暖房歓喜設備改修工事
15 (福) 北海道療育園	旭川市	美幌療育病院	特殊浴槽
16 (特非) サラン	北見市	すずらん	送迎・運搬用車両
17 (福) いわみざわ清澄会	岩見沢市	ふじぎきょう園	送迎用車両
18 (福) 江別昭光福祉会	江別市	真志苑	福祉車両
19 (福) 北海道友愛福祉会	江別市	恵明園	福祉車両
20 (福) 慈光園	札幌市豊平区	ケアハウスきたひろしま	介護用ベッド・車いす・歩行施設
21 (福) 北海道クリスマスセンター福祉会	札幌市北区	家庭福祉相談室らるご	屋根葺き替え・軒天井補修工事
22 (福) ふろんていあ	札幌市西区	発寒わんぱく保育園	非常階段・屋上防水保護材修繕工事
合計 22件			23,860,000円

会員懇親会に160人超 前川清さんディナーショー開催

ワールドオールスタージョッキーズの熱戦冷めやらぬ8月30日、京王プラザホテル札幌において「札幌馬主協会会員懇親会」が開催されました。後藤正幸日本中央競馬会理事長や二ノ宮敬宇日本調教師会会長、武豊日本騎手クラブ会長はじめ関係各位が出席。協会会員、その家族らと楽しいひと時を過ごしました。

午後6時、会は吉田事業サービス委員長より「本日は後藤理事長にも出席していただきました。短い時間ではありますが、楽しい、素晴らしい懇親会にしたいと思しますので、みなさんのご協力をお願いいたします」とのあいさつでスタート。

下河辺会長からは「装いも新たに札幌競馬場で行われたワールドオールスタージョッキーズは個人戦、団体戦ともに僅差で熱い戦いが繰り広げられました。来年以降もこの札幌競馬場が行われますことを切に願いながら、今日は美味しい食事とディナーショーなどをお楽しみいただきたいと存じます」という言葉があり、その中で昨年に引き続き開催日数の増加と札幌記念のGI昇格に尽力していることなどが報告されました。

来賓として出席した後藤正幸理事長は、その挨拶の中で「19年間下がり続けるJRAの売り上げは4年連続で回復傾

向にあります。それらを堅持することを念頭におきながら、札幌競馬場におけるワールドオールスタージョッキーズ(WASJ)を、気候に恵まれた夏の北海道シリーズを代表するシリーズとして育てていきたいと考えております」と理解と協力を呼びかけました。

懇親会は、武豊会長の乾杯によりスタート。途中、自身も馬主である前川清さんのディナーショーでは軽快なトークと数々のヒット曲を楽しみながら約3時間の懇親会は終始、なごやかな雰囲気の中で行われました。(事業サービス委員会)



乾杯は、駆けつけてくれた武豊会長



武豊会長は「馬主の方々と直接話ができる機会が嬉しい」とあいさつ



二ノ宮会長からは「夏の札幌競馬場を盛り上げる企画をどんどん出して欲しい」とエールが送られた



お忙しいなか駆けつけてくれた後藤理事長



前川さんが「夢がかなった」と話したジョッキーとの記念写真



懇親会を盛り上げてくれた前川清さんのステージ



札幌馬主協会協賛レースは 将来を担うヤングチャレンジカップ3競走に

2015年、当協会によるホッカイドウ競馬協賛競走ヤングチャレンジカップは3レース。いずれも、ホッカイドウ競馬から大きく羽ばたこうという2歳馬たちによる競走です。

9月2日の「ヤングチャレンジカップI」は、JRA新潟競馬場で行われたダリア賞にも出走した1番人気のウッディタイガー（牡2、父ローレルグレイロ）が逃げ切り勝ち。

また、10月7日「ヤングチャレンジカップII」は前半は後方に待機した4番人気のサーラジャー（牡2、父カジノドライブ）が、ワールドオールスタージョッキーズに出場した岩橋勇二騎手の手綱さばきも手伝って差し切り勝ち。三好競馬振興特別委員長から関係者に副賞が贈られた。なお、「ヤングチャレンジカップIII」は11月10日に門別競馬場で行われた。

（競馬振興特別委員会）



札幌馬主協会協賛レース優勝馬の騎手に記念品が贈呈された

門別 9月2日 雨、重馬場

着順	馬名	性齢	斤量	騎手	厩舎	タイム	着差	人気
1	ウッディタイガー	牡2	54	服部茂史	田中淳司	1.15.1		1
2	シュネルパレイ	牡2	54	岩橋勇二	田中淳司	1.15.8	4	2
3	トイワガーデン	牡2	54	石川 倭	米川 昇	1.16.0	3/4	3
4	ユアザスター	牡2	54	阿部 龍	角川秀樹	1.16.6	3	5
5	シニスターブレイク	牡2	54	宮崎光行	原 孝明	1.16.7	3/4	4

門別 10月7日 晴、良馬場

着順	馬名	性齢	斤量	騎手	厩舎	タイム	着差	人気
1	サーラジャー	牡2	55	岩橋勇二	國信 満	1.16.2		4
2	ライオンクイン	牝2	54	五十嵐冬樹	桑原義光	1.16.3	1/2	6
3	ジョコピッチ	牡2	55	宮崎光行	松本隆宏	1.17.0	4	2
4	クライフター	牝2	54	井上俊彦	林 和弘	1.17.1	1/2	1
5	ハッピーチャージ	牝2	54	阿部 龍	恵多谷豊	1.17.2	1/2	5

21万人を超える来場者に感謝 また来年、この場所で会いましょう

延べ6週間12日間に渡る札幌開催で21万人以上のファンの目を楽しませたのは、当協会から競馬場へ寄贈された花々。競馬場エントランスはもちろん、パドックやウイナーズサークル周辺、ゴール板付近など前年から大きく数を増やしたことがひと目でわかるくらいに訪れる人たちの目を楽しませた。とくにレースに出走する馬を見守るパドックを囲むゼラニウムの赤い花は高揚感を表現するのにピッタリの雰囲気醸し出し、パドック、及びもいわテラスに備えられた「SAPPORO 2015」と描かれたアクリルサスの花文字が印象的だった。

植田克己札幌競馬場場長は「札幌馬主協会の心遣いには大変感謝しております。今年も札幌競馬場は女性や子供の入場者数が多く、家族で競馬場という雰囲気を楽しんでいたくうえで競馬場を彩った花は欠かせないものと考えています」と感謝を言葉にしていた。



当協会寄贈の花がゴールを華やかなものとした



アニマルサイクルは子供たちの人気者に

愛馬	談話室
	

人の心が繋がって 札幌競馬場に熱い風が吹いた



北見市在住
國分純さん

8月30日札幌11Rキーンランドカップ（GⅢ）に愛馬ウキヨノカゼ（牝5歳）が優勝した際には、沢山の方々から祝福して戴き、誠にありがとうございました。

この馬に携わった全ての皆様と、応援して戴いた多くの方々に、この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

ウキヨノカゼは、2013年のフェアリース2着、クイーンC1着になり、強さと期待を感じさせ、私に重賞初勝利をもたらしてくれた馬です。

もしかしたら、桜花賞やオークスに出走出来るのではないかと夢が膨らみ、当時は毎日楽しみでワクワクドキドキしておりました。

そんな時に、脚部故障の知らせが届き、正に天国から地獄に突き落とされた様な気持ちになりました。忘れもしません。私が仕事で福島へ出張中の出来事でした。

あの時は本当に失意のどん底で、パドックをガニ股で歩く姿も、ターフを駆け抜ける姿も、もう見られないかもしれないと思いました。

けれど幸せな事に、ウキヨノカゼの周りには、復活を信じてくれる人達が沢山居たのです。

調教師の菊澤先生はじめ、ファンクラブのメンバーの原口さん、中村君、陽子ちゃん、グリーンマイルの矢野さん、そして横山さんをはじめ厩務員の皆さん、スタッフの皆さん：1年9カ月もの長い間、みんなが大切に愛情をかけて慈しみ育て、応援してくれました。

馬を心の底から愛してくれる人達、知識や経験の豊富な人達に囲まれて、ウキヨノ

カゼは本当に幸せな馬であり、私もまた幸せな人生だと皆様に感謝しております。

私の本業は医者なのですが、競馬のお蔭で様々な方々と知り合い、親しくさせて頂き、それまで知らなかった世界が広がった様に感じております。

いつも色々とお指導御鞭撻を賜っているアドマイヤ軍団の近藤社長、競馬の道に導いて下さった先輩の浅沼先生、獣医や場長の豊富な経験からアドバイス下さる秋田名人、昔は憧れのメジャーリーガー今は鮭釣り・飲み仲間の大魔神佐々木さん、調教師の友道先生等々：枚挙にいとまが無い程沢山の素晴らしい方々との出会いがあり、私の人生は自分でも想像していなかった位、楽しく広がりました。

今は、皆様への感謝の気持ちを、どの様に御恩返しをしていけるのかと考える日々です。

出会いと云えば、今回ウキヨノカゼを復活させてくれた調教師の菊澤先生と、TVh杯から絶妙の手綱さばきで鞍上をつとめてくれた、竹之下騎手です。出会ってから十数年経ちますが、キクちゃん（竹之下騎手の愛称）は、とても心根の優しい、気遣い心配りの出来る良い青年で、キクちゃんのお蔭で菊澤先生や四位騎手とご縁が出来た事に感謝しております。

いつか私の馬で、大好きなキクちゃんに重賞を勝って貰えたら幸せです。

重賞やGⅠを勝つには、やはり血統の良い高級な競走馬：というのが定説かと思えます。

ちなみに、ウキヨノカゼは父オンプライア、母アドマイヤダッシュの子です。私的には、血統に遜色無しと思っております。が、お値段的にはGⅠ優勝馬に比較すると、はるかに安価な馬に違いありません。

けれど、そんな馬が沢山の人々に愛情をかけて貰い、お世話して戴き、1年9カ月の休養から復活して勝つ！！：自分の持ち馬ながらドラマチックで泣けました。

クイーンCではマイル重賞を勝ったのですが、休養明けの走りを見て、距離を1200mに縮めた事、リズムの合う四位騎手に出会えた事、札幌の洋芝：全ての要素が追い風となったのでしよう。ウキヨノカゼにとつて、新しい才能が開花する舞台が整ったのです。

キーンランドカップの日には、日高の牧場から家族連れの大応援団が、北見・函館・滝川からは私の競馬仲間が大勢駆けつけてくれました。

私は札幌競馬場の馬主エリアで、マジンプロスパ1号を応援する大魔神佐々木さんと一緒にレースを見ておりました。予想通り最後方からのレースでしたが、3コーナーから四位騎手の好騎乗に導かれ、外を通ってスルスルと他馬を一気に抜き去り、差し切った時には、大応援団は大歓声！！しかも、マジンプロスパの馬主佐々木さんが、大きなガッツポーズで、ウキヨノカゼの勝利を心から喜んでくれたのを見た時には、嬉しさで心が震え涙がこぼれました。

口取り写真撮影の時には、ターフいっぱい笑顔の人が並び、この上ない喜びと幸せをかみしめました。



長いプランクを乗り越えての重賞勝利。たくさんの人の思いが詰まった分、大勢での口取りとなった

「浮世の風は冷てえが：」ウキヨノカゼは、札幌競馬場に熱い風を吹かせたのです。そして、ドラマは続きました。

私にとつて初めての憧れのGⅠ、スプリンターズステークスへの出走です。

晴れ上がった秋空に時折強い風が吹いていた10月4日の中山競馬場は、レース展開が前残りで、差し馬には厳しい状況。また、パドックで見える馬達は流石にGⅠに出て来るだけあって、見事な馬ばかり。菊澤先生の調教と四位騎手の手綱と愛馬の脚を信じて祈るしかない私でしたが、ウキヨノカゼは直線で外から強襲して3着。上がりは、メンバー最速の32秒8。

夢は、まだまだ続く。

ドラマは、まだまだ終わらない。

そんな思いにさせてくれる馬と人に出会えた事に、感謝の心でいっぱいです。

競馬って、本当に素晴らしい！！

夏競馬の楽しみ方



札幌市在住
安原浩司さん

レジャー施設としての競馬場

この夏も、札幌、函館の北海道シリーズを満喫させていただきました。

夏競馬の楽しみを、ひとことと言います。なら「肩の力が抜けたローカル競馬、リゾート競馬」の雰囲気だと思っています。

ターフで真剣勝負が繰り広げられているなか、函館、札幌の夏開催に足を運んでくれるファンの方々は競馬場というレジャー施設を楽しんでいるような、そんな気がします。

とくに札幌競馬場の場合、馬主席へ向かう途中にファンファール広場を通ることになりますので、さまざまなスタイルで競

馬場を楽しんでいるファンの方々を目にします。ひとりで競馬新聞とにらめっこしている人、友人同士や若いカップル、家族連れ。そんな人たちが一堂に介して同じ時間を共有するなんていうのは競馬場だけ。ほかの観光施設では考えられないことだと思います。

そういう私も、函館開催では、温泉につかり、美味しいものを食べて、友人や地元の方々と競馬談義に花を咲かせながら翌日の競馬を楽しみます。札幌開催も同様ですが、地元開催であると同時に、開催期間中は私の誕生日が近いこともあって親しい調教師の先生やジョッキーたちとゴルフを楽しむんだり、一緒に食事をさせてもらったり。サラブレッドを通して、人間関係の輪が広がっていくのも競馬の魅力だと思っています。

ですから、開催日数が減ってしまったことは本当に残念です。私に限らず、自分の馬が出走するときには競馬場へ応援に行き



不敗の3連勝で小倉2歳ステークスに勝利したシュウジ。夢が膨らむ優勝となった

たいと考える馬主は多いと思うのですが、仕事などの都合もあり、毎回のように行けるわけではありません。開催日数が減るということは、そういうチャンスを奪われることでもあるのです。ローカル競馬にはローカル競馬だけしかない楽しみがありますし、とくに北海道の場合は観光地で行う競馬であると同時に馬産地に近い競馬場です。いろいろな方に函館や札幌の競馬開催を楽しんでもらいたいですね。

もうひとつの楽しみ方

私は両親がともに馬主だった関係で子供の時から全国の競馬場はもろろん、日高の牧場へもずいぶん連れて行ってもらいました。年に2〜3回ではありますが、当歳

で購入した馬が成長していく姿を見ながら、牧場の人たちとコミュニケーションを広げていくことは人生を豊かにしてくれることだとも思っています。それに、産まれたばかりの仔馬は本当にかわいくて、そして寄り添う母親と不思議なほどよく似ています。私自身、1歳市場や2歳トレーニングセールで馬を購入することもありますが、当歳の、それも庭先取引が少なくなり、馬産地に入る馬主の数が減っているような話を聞くと少しさびしい気がします。もちろん、馬は趣味というには、大きすぎるお金がかかります。かわいだけでは行き詰ってしまいますが、いろいろな楽しみ方があっても良いのかなと、そう思います。また、そういう風に何度も牧場で会っているせいか、パドックでは馬とよく目があうような気がします。馬が、本当に私のことを覚えているのかどうかはわかりませんが、嬉しくなる瞬間でもあります。

少しでも、長く

しかし、競走馬とケガ、病気は切っても切れないような関係にあります。思い悩むこともあります。愛馬の成長を見守り、そしてデビューできる瞬間や、馬とともに全国を旅して、そして勝利の時間を共有することができる喜びは何物にも代えがたいものだと思います。そんな中でいろいろな人との出会いがあります。そんな競馬を1日でも長く楽しんでいた。そう思っています。

日高育成牧場年表

1961	昭和36年		10月	札幌競馬場日高分場開場
1962	37年			日高札幌川沿いの採草地北側20hを借用
1963	38年			プレハブ事務所開設
1965	40年	池本元一	1月	日高育成牧場として独立 厩舎1棟新築
1966	41年			第1回浦河競馬祭開催を日高育成牧場で開催 独身寮、社宅1棟を新築
1967	42年			プレハブ事務所改築
1969	44年			800㎡の馬場を新設
1970	45年		7月	本場及び分場用地36.2ha取得
			10月	事務所、第3号厩舎、馬診療所、農機具庫、 厩舎4棟を新築
1971	46年			第4号厩舎、社宅2棟、独身寮、場長社宅、 倉庫、作業詰所新築
1972	47年	福永久徳	7月	分場追込み厩舎2棟新築
1973	48年			隔離厩舎新築
1974	49年		12月	覆馬場、1号厩舎、作業詰所新築
1978	53年			自家用電気設備新設
1979	54年	小川 諱	8月	第1次海外実践研修(米国、英国)
1980	55年		9月	本場隣接国有地27.1ha取得
1981	56年		7月	第2次海外実践研修(米国)
			10月	第2次海外実践研修(英国)
1982	57年			660㎡直線馬場新設、分場追込み厩舎改築
1983	58年	田口国臣	10月	構内排水路盤整備工事、車庫新設工事
1985	60年		9月	第3次海外実践研修(愛国)
			9月	中規模パドック8面を設置
			12月	第4次海外実践研修(新国)
1986	61年		7月	円形馬場新築、厩舎、診療所改修工事
			8月	生産地研修制度がスタート(2005年まで実施)
1987	62年		10月	日高育成牧場創立30周年記念式典
			12月	第5次海外実践研修(豪州)
1988	63年	田中義朗	11月	スタート練習機及び機械使用道を新設
1989	64年 平成元年		11月	個別放牧用の中パドック、走路柵付、本格的ウッド チップ走路、馬脚冷却場を新設
			12月	第6次海外実践研修(米国)
1990	2年	時見明人	10月	日高種畜牧場、家畜改良センター日高牧場と 改称
1991	3年		3月	軽種馬育成調教センターの法人設立、登記
			4月	軽種馬育成調教センター日高事業所開設
			4月	第7次海外実践研修(愛国)
			4月	BTCで育成調教技術者研修スタート
			6月	日高育成総合施設育成調教グラス馬場、馬 脚洗場新設、覆馬場照明設備増設工事
1993	5年	栗山憲司	4月	日高育成総合施設の用地として国有地 97.1haの払下げを受ける
			6月	日高育成総合施設屋内直線馬場新築その他 工事、屋内トラック馬場新築工事竣工
			10月	日高育成総合施設オープン(日常運営及び 維持管理については財団法人・ 軽種馬育成調教センター(BTC)に業務委託)
1994	6年	栗山憲司 赤塚洋文	2月	日高育成総合施設の用地として国有地469ha の払下げを受ける。1440haの取得すべて完了
			4月	アラブの抽せん馬配布終了
			5月	第8次海外実践研修(5月)
			7月	日高総合育成施設砂馬場新設その他工事竣工
			10月	日高育成総合施設内トラック馬場クッション砂改修
			11月	日高育成総合育成施設宿泊所新設その他工 事竣工
1995	7年		4月	抽せん馬配布方法が選択指名制に
1996	8年		4月	第9次海外実践研修(愛国)
			5月	事務所棟完成
			7月	事務所竣工式
1997	9年		4月	抽せん馬配布方法を2層価格帯方式に
1998	10年	伊藤克己	10月	生産育成研究室設置、研究棟完成
1999	11年		3月	最初の研究馬(ホワイトグローリー号出走)
			4月	BTCが愛国方式による人材育成業務開始
			6月	第10次海外実践研修(米国)
2000	12年	杉本 修		
2002	14年	増澤 均	4月	抽せん馬新規馬主枠設定
			5月	北海道市場でJRA育成馬の二次売却を実施
2003	15年		4月	抽せん馬からJRA育成馬へと名称変更
			5月	JRA育成馬を千葉サラブレッドセールに上場
2004	16年		7月	日高育成牧場見学バスツアー開始
2005	17年	増澤 均	4月	第1回JRAブリーズアップセールを中山競馬場 で開催
2006	18年	田辺博章	3月	育成馬厩舎にウォーキングマシン新設
			11月	屋内販路馬場1000㎡延長工事完了
			12月	「JRA育成牧場管理指針(日常管理と馴致)」 を制作
2007	19年	田辺博章 朝井 洋	2月	第12次海外実践研修(愛国)
			4月	第3回ブリーズアップセールを阪神競馬場で実施
2009	21年		2月	JRAホームブリード第1号(フジティアスの09) 誕生
			4月	JRAブリーズアップセールにおける「購買頭数 制限撤廃」など
			8月	サマースクール開始
2010	22年		3月	第13次海外実践研修(愛国)
			8月	総合職第2次研修再開
			12月	「JRA育成馬指針(生産編)」を制作
2011	23年	高松勝憲	4月	ブリーズアップセールにおける「ファイナルステ ージ」開始
			8月	「グリーンチャンネル馬学講座ホースアカデミー」 放送開始
2012	24年		4月	ブリーズアップセールにおける「新規馬主限定 セッション」開始
2013	25年	山野辺啓	4月	ブリーズアップセールにおける「前日展示」開始
2014	26年		3月	スプリングキャンプ開始
			6月	実践研修プログラム開始



歴代場長ら100人が出席した祝賀会では50周年を祝う鏡開きが行われた

JRA日高育成牧場が
開設50周年

強い馬づくり、馬産地とともに歩んだ半世紀
記念式典に後藤理事長、歴代場長らが集う

浦河町にあるJRA日本中央競馬会日高育成牧場が開設50周年を迎え、7月27日、記念植樹式と祝賀会を開催。後藤正幸理事長や歴代場長が顔を揃えて、節目の年を祝った。

強い馬づくりの道しるべとして

祝賀会に先だって行われた記念植樹式では、樹齢100年を超えるといわれるイチイの木が同育成牧場内から植樹され、後藤正幸理事長、井出道雄副理事長、山野辺啓場長の3人による献入れ式が行われた。

後藤正幸理事長は「日高育成牧場が半世紀にわたって強い馬づくりのために取り組んできた成果や知見は生産地に還元するよう努め、少なからず日本産馬のレベルアップに貢献できたので

はないかと自負しておりますが、これも地元地域の理解と協力があつたからこそ。改めて感謝申し上げますと同時に、この節目を新たな出発点として、今まで以上に努力したい」と感謝と抱負を交えてあいさつ。さらなる発展を誓った。

変わらぬ使命

祝宴の最後に山野辺啓場長は「馬産地にあるJRAの事業所である日高育成牧場が、この日を迎えられるのは、生産育成者をはじめとする多くの方々のおかげと感謝しています。開設50年という月日は経ちましたが、日高育成牧場に課せられた強い馬づくり、競馬サークルの発展、地域の振興という使命は変わらないものと考えています。今後ともご支援のほどお願いします。力強く活躍を誓った。

JRA日高育成牧場は、まだ国営競馬時代の1952年、抽せん馬制度をスタートさせた農林省日高種畜牧場が育成業務をはじめたのがその起源とされている。その後、54年の日本中央競馬会創立に伴い、同宇都宮育成牧場日高支所として発足。57年から札幌競馬場日高分場に名称変更された。JRA職員による育成業務は61年に始まり、65年に独立の運びとなった。その後は、生産地における育成業務のモデルケースとしてさまざまな研究を行い、その中からオークス馬ファインホープ、イソノルーブル。最優秀2歳牡馬セイウンワンダーなどを送り出してきた。

また93年には旧種畜牧場の払下げを受けて、軽種馬育成総合施設を建設。09年からはホームブリードを使って生産から後期育成までを生じるさまざまな問題、テーマに対する技術開発や啓蒙活動に励んでいる。

日本軽種馬協会が、幻のダービー馬 エスケンデレヤの導入を決定

JBB A日本軽種馬協会(河野洋平会長)は全欧年度代表馬ジャイアントコーズウェイ直仔で2010年のウッドメモリアル(GI・ダート9ハロン)優勝馬エスケンデレヤの導入を発表した。来年からは同協会静内種馬場で種牡馬生活を送る。

ダート競馬は4戦4勝

エスケンデレヤは8歳の米国産馬。2歳9月にサラトガ競馬場でデビューし、芝のデビュー戦は2着に敗れたものの、続くビルグリムS(L・ダート8ハロン)ベルモントパーク競馬場)を7馬身4分の1差で制して高い素質をアピールした。強気に挑んだブリーダーズCジュヴェナイルは、サンタアナ競馬場のオールウェザーの馬場に戸惑うように見せ場なく敗れて2歳競馬を3戦1勝で終える。

3歳1月の一般戦を快勝後、狙いをケンタッキーダービーに絞ってファウンテンオブユースS(GII・ダート9ハロン)アケダクト競馬場)に出走し、ここを8馬身半差で快勝。続くウッドメモリアル(GI・ダート9ハロン)ガルフストリームパーク競馬場)も引っぱりきれない手応えで先行し、早めに先頭に並びかけると直線は独走。J・ヴェラスケス騎手が先頭でゴールを駆け

抜けけたとき2着以下は、9馬身4分の3後方で喘いでいた。ここまでダートに限れば4戦4勝。合計着差は約27馬身にもなった。

産駒は市場で高評価

この勝利で、一躍ケンタッキーダービーの本命馬となったが、レースの6日前になって左前脚に水腫が認められたために出走を取消。そのまま現役を引退することになった。通算成績は6戦4勝(重賞2勝)で、獲得賞金は72万5700ドル。

現役引退後は米国のテラーメイドファームで種牡馬となり、初年度の種付料は3万ドルと設定されるなか90頭以上の産駒を残し、初年度産駒のエスケンフォーマナーがガルフストリームパークオークス(GII・ダート9ハロン)2着、ダヴォナデルS(GII・ダート8ハロン)3着と牝馬重賞戦線で活躍。2世代目産駒は今春フロリダのファシニングテイプトントレーニン

グセールで、母イムアデキシィガールの牡馬(母の父ディキシィユニオン)が65万ドルで落札されたほか、ライトゼアーが9月26日に米サンタアナ競馬場で行われたシャンデリアS(GI・ダート8.5ハロン)で3着になるなど産駒は高い評価を受けている。

母系は屈指の名門ファミリー

父は「アイアンホース」の異名をとった全欧年度代表馬で、米2歳&総合チャンピオンサイアーのジャイアントコーズウェイ。シャマーダル(全欧2歳牡馬チャンピオン)フットステップスインザサンド(英2000ギニー)テイクチャージブランドイ(全米2歳牝馬チャンピオン)のほか、日本でもエイシニアポロン(マイルチャンピオンシップ)スズカコーズウェイ(京王杯スプリングC)エーシンジーライン(小倉大賞典)など国籍を問わずに活躍馬を送り続けている。

半兄バーモントはミドルパークS(GI・芝6ハロン)、ジムクラシックS(GII・芝6ハロン)優勝馬。母系は名牝コスマーからアルマームードにさかのぼる世界屈指の種牡馬ファミリーで、ノーザンダンサーやディンヒル、ヘイロー、マルゼンスキーなどと同じ一族。父系、母系ともに活躍馬を輩出し続ける名血だけに期待が膨らんでいる。



エスケンデレヤ競走成績

	場所	出走回数	1着	2着	3着
2009(2歳)	USA	3	1	1	-
2010(3歳)	USA	3	3	-	-
計		6	4	1	-

おもな成績

①米GI	ウッドメモリアルS.	ダート 9ハロン
①米GII	フォウンテンオブユースS.	ダート 9ハロン
①米L	ビルグリムS.	ダート 8ハロン

エスケンデレヤ血統表 2007年生 米国産 栗毛

Giant's Causeway 栗毛 1997	Storm Cat 黒鹿毛 1983	Storm Bird Terlingua
	Mariah's Storm 鹿毛 1991	Rahy イメンス(USA)
Aldebaran Light 鹿毛 1996	Seattle Slew 黒鹿毛 1974	Bold Reasoning My Charmer
	Altair 鹿毛 1991	Alydar ステラーオデッセイ(USA)

私の血統の基本と、 私のセオリー

vol.
1

血統研究家・編著者

笠雄二郎

◆ **ブラックタイド** 2001年生 黒鹿毛 早来産

ディーブインバクトの全兄。現役時代は22戦3勝。スプリングSで目の覚めるような追い込みを披露したが、その後は慢性化した脚部不安でG Iタイトルには恵まれなかった。種牡馬として初年度産駒から多くの活躍馬を出して一躍人気種牡馬となり、3世代目産駒キタサンブラックが菊花賞を勝った。

Halo 黒鹿毛 1969	Hail to Reason	Turn-to	Royal Charger
			Source Sucree
サンデーサイレンス (USA) 青鹿毛 1986	Cosmah	Nothirdchance	Blue Swords
			Galla Colors
Wishing Well 鹿毛 1975	Understanding	Cosmic Bomb	Pharamond
			Banish Fear
Alzao 鹿毛 1980	Lyphard	Almahmoud	Mahmoud
			Arbitrator
ウインドインハーヘア (IRE) 鹿毛 1991	Lady Rebecca	Promised Land	Palestinian
			Mahmoudess
Burghclere 鹿毛 1977	Highclere	Pretty Ways	Stymie
			Pretty Jo
	Mountain Flower	Montparnasse	Gulf Stream
			Mignon
		Edelweiss	Hillary
			Dowager
		Northern Dancer	Nearctic
			Natalma
		Goofed	Court Martial
			Barra
		Sir Ivor	Sir Gaylord
			Attica
		Pocahontas	Roman
			How
		Crepello	Donatello
			Crepuscule
		Sans le Sou	ヴイミー (FR)
			Martial Loan
		Queen's Hussar	March Past
			Jojo
		Highlight	Borealis
			Hypericum

今回から、血統研究家の笠雄二郎氏に血統、配合に関する論文を、2回に分けて寄稿いただきます。

日本のみならず、世界には多くの血統評論家、血統研究家が存在しますが、笠氏はサラブレッドの血統を「配合」という部分から解きほぐし、独自の血統論、配合論を展開しています。サラブレッドにおける血統、配合に100%正しい公式は存在しませんが、氏が長い年月をかけて貫き通してきた「配合論」に触れていただければ幸いです。

前半は、血統、配合に関する氏の考え方やアプローチを紹介し、後半は氏の配合論を具体的に解説いただきたいと思います。難解な部分もあろうかと思いますが、氏の血統ワールドをお楽しみいただきたいと思います。

◆ **Profile**

笠雄二郎 (りゅう ゆうじろう)

1950年愛媛県生まれ。血統研究家、編集者。父系は鹿児島×熊本配合で、母系は江戸×金沢。母の祖父は横浜の株屋で、その姉は根岸競馬に通い詰める。育った牧場は松山。

日大芸術学部卒。競馬専門紙入社後3日目にして、印を打ちコラムを持つ。1970年代にナスルーラ3×4などの表記で予想コラムを書きまくる。

著書に、『日本サラブレッド配合史』(1984年)。現在も第4版が『サラブレッド配合史』の名で『血統屋』*1から出ている。2014年に『サラブレ』に連載した『血統表の見方』は、ムック『走る馬の見方がわかる本』に収録されている。

A=Bや、A=Cや、クロス(3・4×5などの表記を流行させたことで、血統ブームに一役買い、(相似な血のクロス)の考え方は、多くの血統評論家に受け継がれている。

オフィシャルホームページ「ケヤキの向こう」*2でメルマガ「重賞・メイン全馬の軸馬指数」や「ホースレター」を連載中。

*1 血統屋 <http://www.miesque.com/>

*2 ケヤキの向こう <http://www.tescogabby.com/>

サラブレッドの競馬というのは、血統による淘汰であって「血統の良い馬が生き残る」ということです。だから、優れた競走馬を生産、購入するときには「血統が良い」ということが大切なのです。

でも、血統が良くても走らない馬がいるのではないかと、という疑問も多い。それは、遺伝的に良い形質を表現する可能性が大であっても、それが表現されずに、隠れてしまうということがあるから。人間でも犬でも馬でもそういうことはあります。とくに、1キロ以上も走って、たったの0.1秒とか、0.5秒、速いか遅いかで、優秀か優秀でないかが厳然と決められ淘汰されていく競走の場では、なおさらのこととなる。

ディーピンパクトの全兄にブラックタイド（血統表参照）がいて、全弟にオンファイアがいる。もちろん、血統表は同じだ。ブラックタイドはなかなか優秀な馬で、スプリングSを勝って皐月賞に出て負けて、種牡馬になって、産駒のマイネルフロストが毎日杯に勝って、ダービーに出走して3着になっている。GIを何勝もした全弟のディーピンパクトと比べられるから、いくら彼が良い馬でもあっても「歴史的な名馬だ、すばらしい」とまで絶賛されるわけではない。しかし、ディーピンパクトの全兄弟たちが、皆、ダービーや有馬記念を勝って、その産駒が、またダービーやジャパンCを勝っていったら、他の血統の馬たちは勝つレースがなくなってしまう。

他の馬たちにも勝つチャンスはあるわけなのだ。なにしろ、0.1秒や0.5秒差で優秀と平凡に区分けされて淘汰されていく世界だから。

つまり、自身も産駒もダービーで1着になったディーピンパクトは種牡馬として絶賛され、自身はダービーに出ず産駒が3着に終わったブラックタイドは、「さすがディーピンパクトの全兄だけあって、子供もかなり走るなあ」で済ましてしまう人も多い。でも、それくらいの成績を残せば、サラブレッドの世界では凄いことなのだというのを、ぜひ、認識していただきたい。

中には、能力はあるが気性が悪くてレースに勝てなかったり、骨折したり脚部不安で大成しない馬も多い。そういう運や偶然性も含めて、サラブレッドは血統だけでなく全てのファクターで最終評価が決まってしまう。

だから、私などは、命名も大きなファクターだと言い続けている。社台関係や金子真人さんなどは命名の名人だ。「名は体を表す」と言うが、そういうファクターも含めて、調教師が良いか悪いかとか、騎手の騎乗が上手だとか、騎手がレースで馬に教えていくのが下手だとか、いろいろ無数のファクターがあって、けっきょく、たくさんあるファクターの総合力の勝負となってくるわけだけれども、「血統の良い馬が優秀な競走馬となる確率が高い」。少なくとも、私はそう信じている。

では、良い血統と何かということになるが、私は1984年の『サラブレッド配合史』以来、3つの血統論を世に出してきた。書いてきた内容が変わっているわけではなく、例題として取り上げる馬が変わったり、血統論を展開するなかで表現が変わっているだけだ。それは誇りに思っている。

今回は、もっと平明にという要請なので、基本的な事柄から書き始めたいと思う。

では、血統の基礎の話だが、優秀な血統とは、その馬の血統表の中に優秀な血を多く持っていること。

次に、何を考えるかということ、牧場とは繁殖牝馬をつくる仕事をやっているわけで、牝系という、血統表の一番下のライン（ボトム・ラインともいう）を代々、淘汰しながら生産を続けている。もちろん、途中で海外や国内から買ってきてもよいわけだけれど、原点を言えば、牝系をつくっていく仕事だと言ってもかまわない。

100年以上前からサラブレッドを生産している先輩国のイギリスなどでも言われてきたが、「基幹牝馬」と呼ばれるものから優秀な繁殖牝馬が育ちやすい。だから、この牝系の世界も、基幹牝馬など、A級の牝祖から優秀な競走馬が生まれ、優れた血統が創りだされると

◆ Mountain Flower 1964年生 鹿毛 米国産

自身は米国で未勝利だったが、母として、ゲームリーH(米GⅡ、芝9ハロン) ウィルシャーH(米GⅢ、芝8ハロン) など12勝をあげたウィッシングウェルを送り、サンデーサイレンスの祖母となった。

Gulf Stream 鹿毛 1943	Hyperion	Gainsborough	Bayardo
			Rosedrop
Montparnasse 黒鹿毛 1956	Tide-way	Selene	Chaucer
			Serenissima
Mignon 栗毛 1946	Fox Cub	Fairway	Phalaris
			Scapa Flow
Hillary 黒鹿毛 1952	Khaled	Hyperion	Gainsborough
			Selene
Edelweiss 鹿毛 1959	Snow Bunny	Eclair	Ethnarch
			Black Ray
Dowager 鹿毛 1948	Marcellina	Boswell	Bosworth
			Flying Gal
Dowager 鹿毛 1948	Free France	La Rose	Jacopo
			La Rambla
Dowager 鹿毛 1948	Free France	Man o' War	Fair Play
			Mahubah
Dowager 鹿毛 1948	Marcellina	La France	Sir Gallahad
			Flambette
Dowager 鹿毛 1948	Marcellina	Figaro	Colorado
			Tillywhim
Dowager 鹿毛 1948	Marcellina	Belle Mere	Son-in-Law
			Cinna

◆ トキノミノル 1948年生 鹿毛 三石産

7つのレコード勝ちを含み10戦10勝。不敗のまま皐月賞、ダービーを制したが、その2週間後に破傷風でこの世を去った。英国から輸入された祖母はファラリス直仔。ザテトラーチは個性的で伝統的な名馬。

Tetratema 芦毛 1917	The Tetrarch	Roi Herode	Le Samaritain
			Roxelane
セフト (IRE) 鹿毛 1932	Scotch Gift	Vahren	Bona Vista
			Castania
Voleuse 鹿毛 1920	Volta	Symington	Ayrshire
			Siphonia
Voleuse 鹿毛 1920	Sun Worship	Maud	Tarporley
			Ianthe
Soldennis 栗毛 1918	Tredennis	Valens	Laveno
			Valenza
Soldennis 栗毛 1918	Tredennis	Agnes Velasquez	Velasquez
			Agnes Galliard
Soldennis 栗毛 1918	Tredennis	Sundridge	Amphion
			Sierra
Soldennis 栗毛 1918	Tredennis	Doctrine	Ayrshire
			Axiom
Soldennis 栗毛 1918	Tredennis	Kendal	Bend Or
			Windermere
Soldennis 栗毛 1918	Tredennis	St. Marguerite	Hermit
			Devotion
Soldennis 栗毛 1918	Tredennis	Soliman	St. Simon
			Alibech
Soldennis 栗毛 1918	Tredennis	St. Guntheim	Carbine
			St. Bees
Soldennis 栗毛 1918	Tredennis	Polymelus	Cyllene
			Maid Marian
Soldennis 栗毛 1918	Tredennis	Bromus	Sainfoin
			Cheery
Soldennis 栗毛 1918	Tredennis	The Tetrarch	Roi Herode
			Vahren
Soldennis 栗毛 1918	Tredennis	Princess Sterling	Florizel
			Sterling Balm

◆ シンザン 1961年生 鹿毛 浦河産

戦後初の三冠馬となり、種牡馬としてもミホシンザンなどを出して父内国産の礎を築いた。父は伝説的な名種牡馬セントサイモンの血を引く愛国ダービー馬で、本邦チャンピオンサイアー。母の父は昭和17年の菊花賞馬。

Bois Roussel 黒鹿毛 1935	Vatout	Prince Chimay	Chaucer
			Gallorette
Bois Roussel 黒鹿毛 1935	Vatout	Vasthi	Sans Souci
			Vaya
Bois Roussel 黒鹿毛 1935	Plucky Liege	Spearmint	Carbine
			Maid of the Mint
Bois Roussel 黒鹿毛 1935	Plucky Liege	Concertina	St. Simon
			Comic Song
Bois Roussel 黒鹿毛 1935	Solario	Gainsborough	Bayardo
			Rosedrop
Bois Roussel 黒鹿毛 1935	Solario	Sun Worship	Sundridge
			Doctrine
Bois Roussel 黒鹿毛 1935	Udaipur	Blandford	Swynford
			Blanche
Bois Roussel 黒鹿毛 1935	Udaipur	Uganda	Bridaine
			Hush
Bois Roussel 黒鹿毛 1935	セフト (IRE)	Tetratema	The Tetrarch
			Scotch Gift
Bois Roussel 黒鹿毛 1935	セフト (IRE)	Voleuse	Volta
			Sun Worship
Bois Roussel 黒鹿毛 1935	飛竜	クラックマンナン (GB)	Lomond
			Pretty Polly
Bois Roussel 黒鹿毛 1935	飛竜	オーフロラ (AUS)	Patrobas
			E.D.
Bois Roussel 黒鹿毛 1935	トルヌソル (GB)	Gainsborough	Bayardo
			Rosedrop
Bois Roussel 黒鹿毛 1935	トルヌソル (GB)	Soliste	Prince William
			Sees
Bois Roussel 黒鹿毛 1935	トルヌソル (GB)	シアンモア (GB)	Buchan
			Orlass
Bois Roussel 黒鹿毛 1935	トルヌソル (GB)	パツカナムビューチャー	インタグリオー (GB)
			ビューチャーフルドリーマー (GB)

◆ Fiji 1960年生 栗毛 英国産

ハイペリオンとオールムーンシャインの「4分の3同血クロス」を持っている。スタミナと底力の塊のような血統馬で、ナリタブライアン、ビワハヤヒデ、キズナの祖となった。

Donatello 栗毛 1934	Blenheim	Blandford	Swynford
			Blanche
Donatello 栗毛 1934	Blenheim	Malva	Charles O'Malley
			Wild Arum
Donatello 栗毛 1934	Delleana	Clarissimus	Radium
			Quintessence
Donatello 栗毛 1934	Delleana	Duccia di Buoninsegna	Bridge of Earn
			Dutch Mary
Donatello 栗毛 1934	Hyperion	Gainsborough	Bayardo
			Rosedrop
Donatello 栗毛 1934	Hyperion	Selene	Chaucer
			Serenissima
Donatello 栗毛 1934	Rose Red	Swynford	John o' Gaunt
			Canterbury Pilgrim
Donatello 栗毛 1934	Rose Red	Marchetta	Marco
			Hettie Sorrel
Donatello 栗毛 1934	Nearco	Pharos	Phalaris
			Scapa Flow
Donatello 栗毛 1934	Nearco	Nogara	Havresac
			Catnip
Donatello 栗毛 1934	All Moonshine	Bobsleigh	Gainsborough
			Toboggan
Donatello 栗毛 1934	All Moonshine	Selene	Chaucer
			Serenissima
Donatello 栗毛 1934	Turkhan	Bahram	Blandford
			Friar's Daughter
Donatello 栗毛 1934	Turkhan	Theresina	Diophon
			Teresina
Donatello 栗毛 1934	Fair Terms	Fairway	Phalaris
			Scapa Flow
Donatello 栗毛 1934	Fair Terms	Phi-Phi	Stedfast
			Bongo

血統表の 基本的な見方

父	父の父	父の父の父
		父の父の母
	父の母	父の母の父
		父の母の母
母	母の父	母の父の父
		母の父の母
	母の母	母の母の父
		母の母の母

父系のサイアーライン

母系のボトムライン

考えたほうがよい。

たとえば、ナリタブライアンとビワハヤヒデ兄弟を出した名牝系に、ディープインパクトを配合すると、ダービー馬のキズナが出る。ナリタブライアンとキズナは祖母が同じだ。有馬記念を勝ったヴィクトワールピサと、安田記念を勝ったアサクサデンエンが兄弟だということもステキじゃないですか。

こういった特別優秀な基幹牝馬は、その血統表の中に優秀な血が多くあるというだけではなく「優秀なクロス（父方と母方の双方に同じ馬がいるということ）を持っている」ケースが多いのである。

種牡馬のサイアーラインとは、血統表のいちばん上をたどっていくラインだが、普通、これはディープインパクトのように勝ちまくった馬が種牡馬として選別されるわけだ。それ以外にも、ブラックタイドのように、競走成績はイマイチだが血統の良い馬が種牡馬になったりもする。ブラックタイドのようなタイプが、ディープインパクトのようなタイプを、生産の世界で逆転することも夢ではない。アメリカではアリダーとアフームド。日本ではアローエクスプレスとタニノムーティエなどがよく例として取り上げられる。

一昔前には、月友やヒカルタカイ、ヴェンチア、シルバーシャークなど柔軟性を誇るマンノウォー系とか、トウカイテイオーやメジロマックイーンに代表されるトゥルビヨン系とか、珍しいサイアーラインの馬も種牡馬になりやすかったが、最近では減っていく一方だ。他にも、シンザンなどの父ヒンドスタンに代表されるような切れのあるセントサイモン系とか、スタミナに優れたハイペリオン系（菊花賞馬グリーングラスの父インターメゾや、天皇賞馬カシュウチカラの父カバーラップ二世など）とか、優秀なサイアーラインには独特の特徴が遺伝されて受け継がれている。逆に言えば、優秀な形質が強烈に遺伝され、優秀な競走馬がレースに勝つことによって、サイアーラインは生き残る。サイアーラインが優秀なサラブレッドをつくるうえでは大事なファクターとなるわけだ。

今では、競馬がスピード化されたので、ノーザンダンサー（ニジンスキーやノーザンテーストの父）とか、ヘイロー（サンデーサイレンスの父）とか、ミスタープロスペクター（キングマンボの父）とか、スピードのあるサイアーラインが生き残っていく。そして、優秀なサイアーラインは、他の個性的な、傍系となってしまったハイペリオン系とかセントサイモン系とかの優秀な形質を母系の中に入れながら、発展していく。これが、生産の、基本的で、歴史的連続性のある考えだ。

たとえば、サンデーサイレンスの祖母マウンテンフラワー Mountain Flower には、傍系化したマンノウォーやハイペリオンも入っており、それらを、咀嚼して食べていくことによって、A級種牡馬となっているのだ。だから、母系に入る傍系のスパイスも優秀だと、種牡馬として成功しやすい。

以上で述べてきたのは、牝系やその基幹牝馬や、サイアーラインとなる種牡馬などの話だが、その優秀な形質を固定するには、育種学でいう crossing（クロスと言う）が大事なスキルとなる。たとえば、サンデーサイレンスの祖母マウンテンフラワー Mountain Flower（血統表参照）には、ハイペリオン3×4というクロスがある。クロスはいろいろな濃淡があるが、3×4は半世紀前までは「奇跡の血量」と呼ばれて、無敗のトキノミノル（血統表参照）など、

母系の血を 取り込みながら 成長する サイアーライン

◆ **Much Too Risky** 1982年生 栗毛 英国産

ヴィクトワールピサ、アサクサデンエンの祖母。名牝ローズレッドとスイートラヴェンダーの〈全兄弟クロス〉5×5だから、ロゼッタとカルミアの〈同血クロス〉4×4を持っていることになるかと私は解釈している。

Busted 鹿毛 1963	Crepello 栗毛 1954	Donatello	Blenheim	Blandford
		Crepuscule	Delleana	Malva
	Mieuxce		Clarsimus	
	Sans le Sou 鹿毛 1957	ヴイミー (FR)	Wild Risk	Indolence
Mimi		Black Devil		
Bustino 鹿毛 1971	Martial Loan	Court Martial	Mignon	
		Loan	Fair Trial	
Ship Yard 栗毛 1963	Doutelle 栗毛 1954	Prince Chevalier	Prince Rose	Instantaneous
		Chevalerie	Abbot's Speed	
	Above Board	Straight Deal	Kassala	
	Feola	Solario		
Lorenzaccio 栗毛 1965	Klairon 鹿毛 1952	Clarion	Djebel	Good Deal
		Kalmia	Sweet Lavender	Finar Marcus
	Phoenissa 鹿毛 1951	The Phoenix	Chateau Bouscaut	Alce
		Erica	Big Game	Polymelus
Short Rations 黒鹿毛 1975	Hard Tack 鹿毛 1955	Fragrans	Jennydang	Bromus
		Hard Sauce	Saucy Bella	Chaucer
Short Commons 鹿毛 1962	Cowes	Blue Peter	Lighthearthed	Anchora
		Alcantara	Karabe	
	Padus 黒鹿毛 1955	Anwar	Umidwar	Uganda
		Cherry Way	Airway	Solario
		Cherry Pie	Cherry Brook	Mirawala

◆ **Padus** 1955年生 青鹿毛 英国産

ヴィクトワールピサ、アサクサデンエンの5代母。ウミッドウォーと名血ウダイブールの〈全兄弟血クロス〉2×3という血統馬。同じ馬をクロスさせるよりも、こうした相似な血のクロスさせるほうが、大きな効果を生み出すと考えている。

Umidwar 鹿毛 1931	Blandford	Swynford	John o'Gaunt	
		Blanche	Canterbury Pilgrim	
Anwar 鹿毛 1943	Uganda	Bridaine	White Eagle	
		Hush	Black Cherry	
Stafaralla 鹿毛 1935	Mirawala	Gainsborough	Gorgos	
		Sun Worship	Bitter Orange	
Airway 鹿毛 1937	Fairway	Phalaris	St. Serf	
		Scapa Flow	Silent Lady	
	Udaipur	Blandford	Bayardo	
		Uganda	Rosedrop	
Cherry Way 鹿毛 1944	Wychwood Abbot	The Black Abbot	Sundridge	
		Sweet Hainault	Doctrine	
Cherry Pie 鹿毛 1939	Cherry Brook	Sir Eager	Polymelus	
		Whitetor	Bromus	
			Phalaris	Gallinule
			Chaucer	Admiration
			Anchora	Polymelus
			Swynford	Bromus
			Blanche	Gallinule
			Bridaine	Admiration
			Hush	Polymelus
			Abbots Trace	Bromus
			Lady Juror	Chaucer
			Hainault	Anchora
			Sweet Hackness	Swynford
			Eager	Blanche
			Dame d'Or	Bridaine
			Torpoint	Hush
			Lily of the Valley	

◆ **キンシャサノキセキ** 2003年生 鹿毛 豪州産

フジキセキ直仔の外国産馬。曾祖母はフランスの長距離重賞ロワイヤルオーク賞の勝馬で母の父はリポー系でケンタッキーダービー馬のプレゼントコロニー。母の兄にグルームダンサーもいて、母系は底力とスタミナに富む血統構成になっている。

サンデーサイレンス (USA) 青鹿毛 1986	Halo	Hail to Reason	Turn-to
		Cosmah	Nothirchance
フジキセキ 青鹿毛 1992	Wishing Well	Understanding	Cosmic Bomb
		Mountain Flower	Almahmoud
ミルレーサー (USA) 鹿毛 1983	Le Fabuleux	Wild Risk	Promised Land
		Anguar	Pretty Ways
Pleasant Colony 黒鹿毛 1978	His Majesty	Ribot	Intentionally
		Flower Bowl	My Dear Girl
	Sun Colony	Sunrise Flight	Cornish Prince
		Colonia	Milan Mill
ケルトシャー (USA) 鹿毛 1994	Lyphard	Northern Dancer	Tenerani
		Goofed	Romanella
Featherhill 鹿毛 1978	Lady Berry	Violon d'Ingres	Alibhai
		Moss Rose	Flower Bed
			Double Jay
			Misty Morn
		Cockrullah	
		Nalga	
		Nearctic	
		Natalma	
		Court Martial	
		Barra	
		Tourment	
		Flute Enchantee	
		Mossborough	
		Damasi	

◆ **キングカメハメハ** 2001年生 鹿毛 早来産

2004年の変則2冠馬で本邦チャンピオンサイアー。ドゥラメンテの父でもある。父のキングマンボは仏2000ギニー馬。母の父がマイラーのラストタイクーンだが、祖母がブレイクニー×グリーンダンサーでスタミナ血脈だ。

Mr. Prospector 鹿毛 1970	Raise a Native	Native Dancer	Polynesian
		Raise You	Geisha
Kingmambo 鹿毛 1990	Gold Digger	Nashua	Case Ace
		Sequence	Lady Glory
Miesque 鹿毛 1984	Nureyev	Northern Dancer	Nasrullah
		Special	Segula
ラストタイクーン (IRE) 黒鹿毛 1983	Mill Princess	Prove Out	Count Fleet
		Santa Quilla	Miss Dogwood
マンファス (IRE) 黒鹿毛 1991	Blakeney	Hethersett	Nearctic
		Windmill Girl	Natalma
Pilot Bird 鹿毛 1983	The Dancer	Green Dancer	Forli
		Khazaeen	Thong
			Graustark
			Equal Venture
			Sanctus
			Neriad
			Nearctic
			Natalma
			Buckpasser
			Best in Show
			Never Bend
			Milan Mill
			Sayajirao
			Scollata
			Hugh Lupus
			Bride Elect
			Hornbeam
			Chorus Beauty
			Nijinsky
			Green Valley
			Charlottesville
			Aimee

もてはやされた。べつに3×4でなくても、シンザン（血統表参照）のように4×4も、よくあるパターンだ。3×4や4×4が多く残っているが、3×3から5×5くらいまで、いずれでもそれほど大きな差はない。

クロスとは、 優れた形質を 選択、強調して いくもの

クロスはそういう意味で、祖先の中の良い形質を選択・強調して遺そうとする努力の最たるものだ。クロスすることによって、その血の良い性質を強調することができる。

先ほど牝系で述べたナリタブライアン兄弟とキズナは、どちらも、3代母はフィジー Fiji（血統表参照）で、フィジーが持っている Hyperion = All Moonshine 3×3の「4分の3同血クロス」（血統表の4分の3くらいの部分が、同じ血統で構成されている馬が、血統表内の父と母の部分に、それぞれ存在すること）の爆発力が源となっている。

ヴィクトワールピサやアサクサデンエンの祖母（血統表参照）は、Rose Red と Sweet Lavender が全きょうだいなので、Rosetta = Kalmia 4×4という「同血クロス」（同じ血統構成を持つ馬が血統表内の、父と母の部分にそれぞれ存在すること）になる。5代母 Padus（血統表参照）は、Umidwar = Udaipur 2×3の「全兄弟クロス」（血統表内の父と母の部分に、全きょうだいそれぞれ存在すること）になる。これらの馬は、いずれも、私の血統論のキイである〈相似な血のクロス〉を持っているのだ。

優秀な基幹牝馬を重視する考えは世界中にあるが、こういうふうには、遡って調べていくと、牝系の奥に濃いクロスが内包されていることが多い。

そして、同じクロスでも、「全兄弟クロス」や「4分の3同血クロス」や「同血クロス」などを総称すれば〈相似な血のクロス〉ということになるが、相似な血のクロスは普通のクロス（ハイペリオン3×4など）よりも爆発力を生む、という考えが私の血統・配合論の根底にある。何を隠そう、優秀なサンデーサイレンス産駒のほとんどは、相似な血のクロスだ。そういったクロスの話などは次回に詳しく述べたい。

サラブレッドの 基本は 2000m

さて、生産の目標は、私の考えでは、2000mを目標にしたほうが成功しやすい。私は、どんなに優秀なサラブレッドでも代を重ねることでスタミナ寄りになっていく「スピード劣化の法則」を言い続けてきたが、例えば、さしものスピードを誇るハイペリオンでさえ、今ではスタミナだし、そこまで極端でなくても、1600m～2000mのマイラーの血は、母系に入る頃は2000m～2400mの中距離馬のスタミナと化していく。

だから、スプリンターとステイヤーは生産の統計論的な標準偏差から逸脱した例外であって、たとえ良い馬が出たとしても、それは例外であって、そればかり目標にすると繁殖入りしたときに配合しにくくなってしまう。

スプリンターとして成功したキンシャサノキセキ（血統表参照）は、血統的にはマイラーの配合だ。だから、あの馬の場合はマイラーをつくらうとしたらスプリンターができた、というくらいの考えのほうが、繁殖入りしたときは配合しやすい。

基本は、父にスピード、母にスタミナで、そういう母にスタミナや底力の凝縮がある馬は、ゴール前でグイグイ伸びてくれやすい。ディーブインパクトやキングカメハメハ（血統表参照）の母系にもスタミナは十分、存在している。

ただし、ハーツクライやリアルシャダイのようにスタミナが十分ある馬が種牡馬になると、相手の繁殖牝馬にはスピードも入れて、血統表全体で2000mを志向しないと成功しにくいのであるが。

今の社台グループや、ファンの多かったメジロ牧場や、シンボリルドルフを生んだシンボリ牧場などは、2000m（や中距離）を目標として生産し続けて成功した例なのだ。そういうことは、つねに頭の隅に覚えておきたい。（次号に続く）

千葉 サラブレッド セール



過去最高の購買者登録でにぎわったセール会場

千葉県両総馬匹農業協同組合が主催する2歳トレーニングセールで、JRAの登録馬主のみ購買者登録ができるJRAフリーズアップセールを除けば、首都圏で開催される唯一の競走馬市場。96年から千葉県の富里市場で行われていた「両国3歳市場」をその前身とするが、03年から船橋競馬場に舞台を移してから急成長を遂げた。

競馬場の仮設馬房を使用することから上場頭数は、60頭前後に絞られるものの、社台ファームや千代田牧場、岡田スタッドなど有力大手牧場の生産、育成馬を中心として血統レベルは総じて高く、2歳トレーニングセールの中心的存在に なってきた。

2015.5.15/ 船橋競馬場

ダービー馬の半弟登場 セール史上最高価格を更新

ダービー馬エイシンフラッシュの半弟「ムーンレディの13」（牡、父 デイブインパクト）の上場で注目を集めた「千葉サラブレッドセール」（主催・千葉県両総馬匹農業協同組合）は5月15日に船橋競馬場で行われた。しつかりと調教を積まれた2歳馬57頭が上場して53頭（牡23頭、牝30頭）を売却。92・98%の売却率で、総額12億4260万円（税別）を売上げた。

最高価格は大方の予想どおりに「ムーンレディの13」の1億9000万円。公開調教では13秒2〜11秒4をマークし、千葉セールの最高価格であると同時に、2歳セール取引馬の日本レコードにもなった。結果、総売上、売却頭数、

売却率のいずれも過去最高を記録。従来のレコードを更新するビッグセールになった。

セール終了後、吉田照哉市場長は「今回の上場馬は高いレベルにあり、結果的に究極に近い市場が開催できたと思います。トレーニングセールが本格化して10年以上。ソフト面での購買者サービスはもちろん、それぞれの育成牧場の調教技術が進歩したことで、スムーズに走れている馬が多く、購買者の方には完成の域に近づいている走行フォームをお見せできたと思います。早くからせりのために準備していたことが実を結んだ結果だと思えます。今回の取引馬が無事にデビューし、1頭でも多くの馬が勝ちあがってくれることを期待します」とコメントした。



2歳セール最高価格となったムーンレディの13

千葉サラブレッドセール累年成績

年次	上場頭数(頭)	売却頭数(頭)	売却率(%)	総売上額(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均価格(円)	中間価格(円)
2006	53	39	73.6	362,150,000	27,000,000	2,000,000	9,285,897	7,300,000
2007	59	36	61.0	364,800,000	56,000,000	2,000,000	10,133,333	8,000,000
2008	54	30	55.6	164,600,000	12,400,000	1,500,000	5,486,667	5,000,000
2009	31	28	90.3	216,800,000	30,500,000	2,500,000	7,742,857	6,150,000
2010	53	36	67.9	501,600,000	43,000,000	3,000,000	13,933,333	12,000,000
2011	48	36	75.0	420,000,000	41,000,000	2,500,000	11,666,667	9,550,000
2012	56	47	83.9	561,400,000	40,000,000	1,100,000	11,944,680	10,000,000
2013	55	41	74.5	548,800,000	51,000,000	3,000,000	13,385,366	10,500,000
2014	59	49	83.1	689,800,000	54,000,000	3,200,000	14,077,551	10,500,000
2015	57	53	93.0	1,242,600,000	190,000,000	4,000,000	23,445,282	17,000,000

価格は全て税抜き

北海道市場 トレーニング セール

日高、胆振、十勝の軽種馬農業協同組合によって開設される2歳馬市場。かつては静内（新ひだか町）で行われていたが、2015年からは市場機能を備えた札幌競馬場での開催がほぼ固定化。現在では北海道内で行われる唯一の2歳馬市場となった。

札幌競馬場のダートコースを使って行う公開調教は、2ハロンを100分の1秒単位で計測されることが特徴的。市場開催の約1ヶ月ほど前にもリハールを兼ねた調教が行われ、その模様はビデオ撮影されて公開される。上場頭数は全国最多を誇る2歳トレーニングセール。6年連続で売上げレコードを更新中の注目の市場だ。

2015.5.26/ 札幌競馬場



ファンファーレ広場がせり会場へと早変わり

新装なった 札幌競馬場でセール開催 総売上のレコードを更新

2年ぶりに札幌競馬場へと帰ってきた北海道市場2歳トレーニングセール（主催・北海道市場）は5月26日に開催された。267頭が上場されて、166頭（牡94頭、牝71頭、せん1頭）を売却。売上総額は、同市場レコードとなった昨年の函館開催を1億9000万円あまり上回る10億880万円（税別）。都市圏での開催で会場は大いに盛り上がった。

最高価格を記録したのは25日に同競馬場のダートコースで行われた公開調教で、11秒34〜10秒28を単走で記録した「パーフェクトダンスの2013」（牝、父ワークフォース）。曾祖母フェアサリニアが1978年の仏、愛オークス優勝馬。母の全姉

にスターリーヘヴン（福島牝馬S2着）がいる血統で、父は新種牡馬のワークフォース。3050万円で愛知県の増田雄一さんが長い競り合いを制した。

木村貢市場長は「過去最多となる480人を超える購置者登録をいただいたのは、会場に対する期待感と感じています。JRAはじめ札幌競馬場には大変感謝したいし、購置者、販売申込者の方々にも御礼申し上げます。公開調教については水準以上の仕上がりの馬が多くスムーズに行えたと思いますが、せり会場の利用という部分では、まだ100%使いこなすことができなかった印象を受けたので、今後の課題としたい。今回の結果には満足していますが、今後も売却率の高いせり開催を目指し努力していきたい」とコメントした。



最高価格となったパーフェクトダンスの2013

年次	上場頭数(頭)	売却頭数(頭)	売却率(%)	総売上額(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均価格(円)	中間価格(円)
2006	171	90	52.6	503,200,000	19,000,000	900,000	5,591,110	4,650,000
2007	125	82	65.6	433,500,000	35,000,000	1,500,000	5,286,585	4,500,000
2008	181	82	45.3	413,900,000	28,000,000	1,500,000	5,047,561	4,000,000
2009	142	86	60.6	441,600,000	23,500,000	600,000	5,134,883	4,000,000
2010	179	100	55.9	564,600,000	53,000,000	1,000,000	5,646,000	4,000,000
2011	215	133	61.9	631,800,000	26,000,000	1,000,000	4,750,375	4,100,000
2012	181	123	68.0	675,450,000	28,000,000	1,500,000	5,491,463	4,300,000
2013	262	152	58.0	812,010,000	30,000,000	1,000,000	5,342,170	4,000,000
2014	183	137	74.9	814,410,000	27,500,000	1,000,000	5,944,598	4,900,000
2015	267	166	62.2	1,008,800,000	30,500,000	1,200,000	6,077,108	5,000,000

価格は全て税抜き

セレクト セール1歳



2日間を通して最高価格となったジョコンダIIの2014

日本競走馬協会（河野太郎会長）が主催する1歳市場で、毎年7月上旬に同当歳市場と併催するような形で行われている。1998年の市場開設初年度に小規模で行われたのを最後に翌年から休止されていたが、06年から復活。その後は右肩あがりに数字を伸ばし、現在では当歳市場と肩を並べるくらいまでに好況を呈している。

国内1歳市場としては毎年最高の売却率、総売上、平均価格を記録しており、上場の半数以上を社台グループの良血馬が占めるのが特徴的。高額落札馬の多くが同グループからの上場馬となっている。

2015.7.13/ノーザンホースパーク

過去最高の売却率 市場レコード更新の71億円

セレクトセール1歳は7月13日、苫小牧市のノーザンホースパークで行われた。238頭（牡148頭、牝90頭）が上場し、うち210頭（牝135頭、牝75頭）が売却された。売却率の88・2%は過去最高。売上総額も同1歳市場レコードとなる71億450万円（税別）となった。

最高価格馬となったのは「ジョコンダIIの2014」（牡、父ディープインパクト）。セールの1ヶ月半前に行われた日本ダービー3着サトノクラウンの半弟という血統で、半姉ライトニングパールは英国のGI勝ち馬。近親には欧州のGI馬が名を連ねる名血だ。1億円からスタートしたせりは長い競り合いの末に、2億3500万円で東京都の里見治



最高価格となったジョコンダIIの2014

氏に購買された。

また牝馬では仏GI勝ち馬を母に持つ「コケレールの2014」（牝、父ディープインパクト）が、1億3500万円で京都府の（株）キーンファーズによって落札された。

セール終了後、市場長代理の吉田勝巳ノーザンファーム代表からは「天候にも恵まれ、これ以上は望めない最高の成績だった。新規参加の購買者の活発な購買活動が目立ち、セール取引馬の海外での活躍、円安という背景もあって海外からの購買者も相当に増えた。高価格馬の母は欧米のGI勝ち馬であり、世界水準のブラクタイプに達したと認められたと思う」とのコメントがあった。

年次	上場頭数(頭)	売却頭数(頭)	売却率(%)	総売上額(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均価格(円)	中間価格(円)
2006	165	109	66.1	3,414,000,000	205,000,000	7,000,000	31,321,101	21,000,000
2007	150	108	72.0	3,284,400,000	250,000,000	6,000,000	30,411,111	17,250,000
2008	151	105	69.5	2,347,600,000	245,000,000	3,500,000	22,358,095	16,000,000
2009	156	122	78.2	2,699,400,000	145,000,000	4,000,000	22,126,230	16,000,000
2010	214	173	80.8	3,157,100,000	66,000,000	4,000,000	18,249,133	15,000,000
2011	233	197	84.5	4,726,000,000	360,000,000	5,000,000	23,989,848	18,500,000
2012	242	202	83.5	5,452,600,000	250,000,000	4,000,000	26,993,069	19,500,000
2013	257	226	87.9	6,160,700,000	180,000,000	4,000,000	27,259,735	18,500,000
2014	255	215	84.3	6,028,000,000	260,000,000	4,000,000	28,037,209	20,000,000
2015	238	210	88.2	7,104,500,000	235,000,000	5,000,000	33,830,952	25,000,000

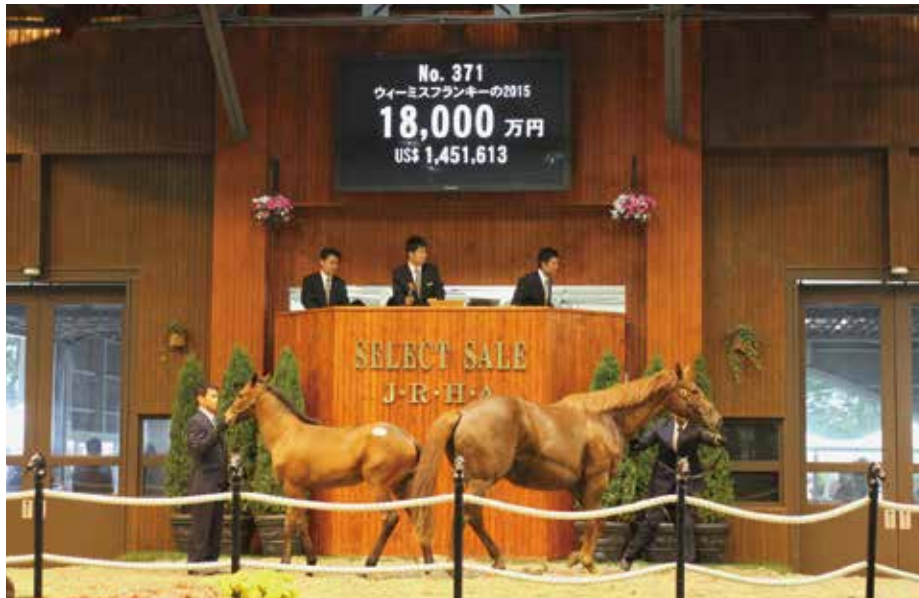
価格は全て税抜き

セレクト セール当歳

セレクトセール1歳市場の翌日に同じ苦小牧市のノーザンホースパークで日本競走馬協会（河野太郎会長）の主催によって開催される当歳市場は、現在、国内で行われる唯一の当歳市場。かつては2日間開催で行われた時代もあったが、2010年以降は選考基準を厳しくして日程を短縮して行われている。

1歳市場同様に上場馬の約半数が、社台グループの生産馬となっているのが特徴的。ディープリンパクト、キングカメハメハが取引された市場として購買者からの信頼も厚く、開設された98年以降、売却頭数、売却率、売上総額ともに高いレベルを維持している。

2015.7.14/ ノーザンホースパーク



ウィーミスフランキーの2015は牝馬として歴代4位の高額落札となった

ディープリンパクト牝馬に 1億8000万円

豪州調教師が積極参戦

セレクトセール当歳は、232頭（牡152頭、牝80頭）が上場され、うち184頭（牡123頭、牝61頭）が売却された。79・3%の売却率で、1日開催となつてからは史上2番目となる6億6900万円を売り上げた。1億円を超える価格で取引されたのは7頭。

最高価格は「ウィーミスフランキーの2015」（牝、父ディープリンパクト）の1億8000万円。牝馬の落札価格としては歴代4位の記録で、（株）ダノックスが落札した。同馬の母は米国西海岸を代表する2歳牝馬戦米G1デルマーデピュタントS、米G1オークリーフSを連勝するなど5戦3勝の活躍牝馬。

せりは5000万円からスタートし、200万円単位で快調に跳ね上がり1億円を超えると500万円単位に。それでも、会場からは途切れることなく声がかかった。

セール終了後、吉田照哉会長代行は「昨年の成績を超えたことについては快挙のひとつ。海外の経済情勢が不安定な中、多くの購買者にお集まりいただき感謝したい。海外で一流の成績を残した繁殖牝馬の仔が上場されたことで海外からも注目される市場になったと思う。そういった背景に加えて新しい馬主さんが積極的に参加してくれたことが、全体の底上げにつながったと考えています」と満足そうに2日間を振り返った。



ウィーミスフランキーの2015は、（株）ダノックスが1億8000万円で落札

セレクトセール当歳累年成績

年次	上場頭数(頭)	売却頭数(頭)	売却率(%)	総売上額(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均価格(円)	中間価格(円)
2005	302	242	80.1	7,972,000,000	210,000,000	4,000,000	32,942,149	26,000,000
2006	304	221	72.7	8,340,500,000	600,000,000	6,000,000	37,739,819	26,000,000
2007	317	240	75.7	8,292,500,000	300,000,000	6,000,000	34,552,083	26,000,000
2008	314	222	70.7	7,339,000,000	220,000,000	5,000,000	33,058,559	26,000,000
2009	320	207	64.7	4,913,200,000	165,000,000	6,000,000	23,735,266	19,000,000
2010	208	141	67.8	3,339,000,000	112,000,000	5,000,000	23,680,851	17,000,000
2011	220	161	73.2	4,447,200,000	250,000,000	6,000,000	27,622,360	20,000,000
2012	211	158	74.9	4,843,700,000	250,000,000	6,000,000	30,656,329	23,500,000
2013	220	166	75.5	5,604,000,000	240,000,000	6,000,000	33,759,036	23,000,000
2014	220	189	85.9	6,547,050,000	250,000,000	4,000,000	34,640,476	24,000,000
2015	232	184	79.3	6,069,000,000	180,000,000	6,500,000	32,983,696	25,000,000

価格は全て税抜き

北海道市場 セレクション セール



最高価格を分け合ったハートオブクイン 26

日高、胆振、十勝の軽種馬農業協同組合によって開設される1歳馬特別市場。毎年7月中旬に新ひだか町の北海道市場で開催される。かつては6月と7月に分かれて行われていた特別市場を統合する形で、セレクションセールとして2001年にスタート。

上場申込のあった馬について、基本的には選考委員会が実馬検査を行うことが最大の特徴で、そのため血統のみならず、馬格や馬体、成長度などが加味されて上場馬が決定される。JRA賞最優秀ダートホースのホッコータルマエの出身セールとして、4年連続で売却率は60%以上を記録。売上総額も右肩上がりの傾向を示すなど、注目の市場だ。

庄巻の売却率72% 総売上は市場レコードを更新

日高の選抜市場「セレクションセール」は7月21日、北海道新ひだか町静内神森の北海道市場で開催された。231頭が上場されて、166頭（牡131、牝35）を売却。71.9%の売却率で19億610万円（税別）を売り上げた。

上場申込馬を厳選した結果、上場頭数こそ17頭減となったが、売却率は9.76pt増で、売却総額は1億9040万円の上昇。平均価格も約34万円アップという結果となった。最高価格は2頭。新ひだか町の乾皆雄氏生産の「ルビウス2014」（牡、父ディープリランテ）と、日高町の木村牧場生産の「ハートオブクイン26」（牡、父キングズベスト）の2800万円。2000万

2015.7.21/ 北海道市場



最高価格となったルビウス 2014

円以上で取引された馬が21頭（前年比5頭増）で、中間価格も大台の1000万円となった。

前者はおじに函館2歳S3着アドマイヤカリブがいる血統で兵庫県の（有）雅苑興業が購買。母が函館2歳Sの優勝馬という後者は神奈川県の本哲秀氏が購買した。

木村貢市場長は「購買者登録が大幅に増えたことが数字を伸ばした要因と考えています。セール取引馬の活躍はもちろんです。ここ数年の販売促進の前向きな取り組みに関しても、購買者あるいは関係者からも評価されるようになってきた。ご協力いただいた関係者の方々に感謝申し上げますとともに個別情報の開示を更に充実させて、引き続き新規購買層の拡大に努めたい」というコメントがあった。

北海道市場セレクションセール累年成績

年次	上場頭数(頭)	売却頭数(頭)	売却率(%)	総売上額(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均価格(円)	中間価格(円)
2006	188	115	61.2	1,170,800,000	47,000,000	3,500,000	10,180,870	8,200,000
2007	197	128	65.0	1,507,000,000	60,000,000	1,600,000	11,773,437	8,600,000
2008	228	107	46.9	1,102,500,000	29,000,000	3,900,000	10,303,738	9,000,000
2009	241	132	54.8	1,239,100,000	30,600,000	2,000,000	9,387,121	8,000,000
2010	245	141	57.6	1,459,200,000	27,000,000	3,500,000	10,348,935	9,000,000
2011	360	201	55.8	1,755,400,000	24,000,000	2,500,000	8,733,333	8,000,000
2012	211	129	61.1	1,506,400,000	31,000,000	5,000,000	11,677,519	9,700,000
2013	224	143	63.8	1,668,700,000	46,000,000	5,000,000	11,669,230	9,600,000
2014	248	154	62.1	1,715,700,000	43,000,000	5,000,000	11,140,908	9,200,000
2015	231	166	71.9	1,906,100,000	28,000,000	5,000,000	11,482,530	10,000,000

価格は全て税抜き

北海道市場 サマーセール

日高、胆振、十勝の軽種馬農業協同組合によって開設される競走馬1歳市場。毎年8月の中旬から下旬に新ひだか町の北海道市場で開催される。選抜市場ではないので、希望する馬はすべて上場できるのが特徴。毎年、1000頭を超える上場頭数で賑わいを見せる日本最大規模の市場で、かつては5日間開催だったが、13年からは市場の待機馬房数増加により4日間に短縮。比較的手ごろな価格帯でバラエティに富んだラインナップから選択できる楽しみがある。売却率や売上総額など、近年では目覚ましい成長を遂げている市場となっている。

2015.8.24-27/ 北海道市場



ディープリンパクト産駒がサマーセールを盛り上げた

レコードブレイク…… 売却率、売却頭数、総売上 レコード更新

サラブレッド1歳の競走馬市場「サマーセール」が8月24日から27日まで、新ひだか町の北海道市場で行われた。過去最高となる1239頭(牡684頭、牝555頭)が上場されて812頭(牡499頭、牝313頭)を売却。35億760万円(税別)を売り上げた。総売上は前年比6億5000万円増。売却頭数は同117頭増。売却率は同4.2pt増の65.54%。いずれも前年を大きく上回り、サマーセールが現在のような形となった2003年以降で、最高の数字を記録した。

最高価格は、祖母にオークスマエリモエクセルを持つ「ユニ」(牡、父ディープリンパクト)の

3000万円。類似町の渡辺牧場の生産馬で浦河町の吉澤ステイブルが落札した。

木村真市場長は「売却率、売却頭数、総売上はサマーセールレコードとなり、嬉しいのひとこと。購買者登録は前年比67人増の743人で、購買実績者数も同33人増の335人と聞きました。多くの方々に支えられて4日間の全日程で平均的な売却率を記録したことは嬉しかったが、その反面、市場近隣の宿泊施設数の不足という課題にも直面している。オータムセールにむけて改善できるところは改善して、よりよい市場開催を目指したい」と4日間を振り返った。



「ユニ」は北海道1歳市場の最高価格馬にもなった

北海道市場サマーセール累年成績

年次	上場頭数(頭)	売却頭数(頭)	売却率(%)	総売上額(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均価格(円)	中間価格(円)
2006	1122	356	31.7	1,732,700,000	25,000,000	100,000	4,867,134	4,000,000
2007	1125	368	32.7	1,612,600,000	26,000,000	700,000	4,382,065	3,450,000
2008	1124	354	31.5	1,523,500,000	20,200,000	500,000	4,303,671	3,500,000
2009	1077	396	36.8	1,647,600,000	18,500,000	500,000	4,160,606	3,500,000
2010	1178	479	40.7	1,887,200,000	22,000,000	200,000	3,939,874	3,100,000
2011	1209	519	42.9	1,930,700,000	17,200,000	400,000	3,720,038	3,000,000
2012	1190	566	47.6	2,312,720,000	25,000,000	500,000	4,086,077	3,100,000
2013	1130	618	54.7	2,412,500,000	20,500,000	500,000	3,903,721	3,000,000
2014	1133	695	61.3	2,857,600,000	26,500,000	300,000	4,111,655	3,300,000
2015	1239	812	65.5	3,507,600,000	30,000,000	500,000	4,319,704	3,500,000

価格は全て税抜き

札幌馬主協会会員 勝馬紹介

WINNERS

平成27年4月25日～10月25日

開催日	開催場	レース名・クラス	馬名	性別	会員名(レース時)	距離・馬場	タイム	騎手	調教師	生産者
4月25日	京都③	3歳未勝利牝	ジンダバイン	牝3	H.H. シェイク・モハメド	1800・ダート	1:54.1	藤田 伸二	石橋 守	ダーレー・ジャパン・ファーム
4月25日	東京②	3歳未勝利	スールキートス	牝3	日進牧場	1300・ダート	1:20.5	吉田 豊	矢野 英一	日進牧場
4月25日	福島①	障害 4歳以上オープン	ラッキーストリーク	牡5	藤井 謙	3380・芝	3:38.5	石神 深一	小西 一男	日東牧場
4月25日	京都③	3歳500万下	ムーンクレスト	牡3	ヒガカ・ブリーダーズ・ユニオン	1600・芝	1:33.2	松山 弘平	本田 優	三嶋牧場
4月25日	福島①	4歳以上500万下牝	エルノルテ	牝4	吉田 勝己	1200・芝	1:08.6	藤岡 康太	音無 秀孝	ノーザンファーム
メトロポリタンステークス			ムスカテール	牡7	吉田 勝己	2400・芝	2:24.8	吉田 豊	友道 康夫	ノーザンファーム
4月25日	東京②	4歳以上オープン								
4月26日	京都③	3歳未勝利	マイアペーア	牡3	社台レースホース	1600・芝	1:33.8	川田 将雅	矢作 芳人	社台ファーム
4月26日	福島①	3歳未勝利	マスターブラマー	牡3	岡田 牧雄	2600・芝	2:40.7	井上 敏樹	栗田 博憲	岡田スタッド
4月26日	福島①	3歳未勝利	イワヌガハナ	騾3	團分 純	1200・芝	1:09.3	松若 風馬	小野 次郎	スマイルファーム
4月26日	福島①	4歳以上500万下	プロファウンド	牡4	H.H. シェイク・モハメド	1150・ダート	1:08.5	井上 敏樹	伊藤 圭三	ダーレー・ジャパン・ファーム
桑折特別			キネオダンサー	牝4	吉田 千津	2000・芝	1:59.9	吉田 隼人	牧 光二	バカバカファーム
4月26日	福島①	4歳以上500万下								
府中ステークス			ダービーフィズ	牡5	社台レースホース	2000・芝	1:59.9	姥名 正義	小島 太	社台ファーム
4月26日	東京②	4歳以上1600万下								
第50回 サンスポ賞フローラスステークス (GII)			シングウィズジョイ 牝3 社台レースホース							
4月26日 東京② 3歳オープン牝 2000・芝 内田 博幸 友道 康夫 社台ファーム タイム:2分01秒8 (2着ディアマイダーリン)										
										
4月26日	京都③	4歳以上1000万下	セウアズール	牝4	吉田 照哉	1600・芝	1:32.2	C. ルメル	松田 博資	社台ファーム
5月2日	新潟①	3歳未勝利	ブルールーク	牡3	ブルーマネジメント	1800・ダート	1:53.3	吉田 隼人	牧浦 充徳	出羽牧場
5月2日	東京②	3歳未勝利	キスザスターズ	牡3	P.G. ファッジ	1400・ダート	1:26.6	横山 典弘	加藤 征弘	社台ファーム
5月2日	新潟①	3歳未勝利	スターリーウインド	牝3	ヒガカ・ブリーダーズ・ユニオン	1600・芝	1:35.7	松若 風馬	今野 貞一	矢野牧場
5月2日	東京②	4歳以上500万下	インスタイル	騾4	岡田 牧雄	1400・ダート	1:26.5	岩田 康誠	池上 昌和	岡田スタッド
春光ステークス			クラージュドール	牡5	社台レースホース	2100・ダート	2:11.5	川田 将雅	池江 泰寿	社台コーポレーション白老ファーム
5月2日	東京②	4歳以上1600万下								
5月2日	東京②	4歳以上1000万下	デルマネコムスメ	牝5	浅沼 廣幸	1300・ダート	1:18.0	田辺 裕信	大和田 成	社台ファーム
5月3日	新潟①	3歳未勝利牝	カノンブルー	牝3	ブルーマネジメント	1800・ダート	1:55.1	勝浦 正樹	尾形 和幸	大島牧場
5月3日	東京②	3歳未勝利	ジャジャンケン	牡3	スリースターズレーシング	1600・ダート	1:38.9	嘉藤 貴行	松永 康利	神垣 道弘
5月3日	京都③	3歳未勝利牝	マートンパーク	牝3	下河辺牧場	1200・ダート	1:13.0	C. ルメル	安田 隆行	下河辺牧場
5月3日	新潟①	3歳未勝利	コロマンデル	牡3	吉田 勝己	1200・ダート	1:12.2	鮫島 克駿	安田 隆行	ノーザンファーム
5月3日	東京②	3歳未勝利	トミケンキルカス	牡3	富樫 賢二	1300・ダート	1:20.2	三浦 皇成	大和田 成	飯岡牧場
晩秋ステークス			エイシンスバルタン	牡4	栄進堂	1400・芝	1:20.0	藤岡 康太	藤岡 健一	Hill 'n' Dale Equine Holdings Inc. Heiligbrodt Racing Stable et al
5月3日	東京②	4歳以上1600万下								
スイートピーステークス			ディーブジュエリー	牝3	吉田 勝己	1800・芝	1:47.4	柴田 善臣	国枝 栄	ノーザンファーム
5月3日	東京②	4歳以上オープン								
第151回天皇賞・春 (GI)			ゴールドシップ 牡6 小林英一ホールディングス							
5月3日 京都③ 4歳以上オープン 3200・芝 横山 典弘 須貝 尚介 出口牧場 タイム:3分14秒7 (2着フェイムゲーム)										
										
5月9日	新潟①	4歳以上障害オープン	エーシンホワイト	牡8	栄進堂	3290・芝	3:34.7	北沢 伸也	松元 茂樹	千代田牧場

開催日	開催場	レース名・クラス	馬名	性別	年齢	会員名(レース時)	距離・馬場	タイム	騎手	調教師	生産者
5月9日	京都③	3歳未勝利	ランウェイ	牝	3	井高 義光	1400・芝	1:21.5	川田 将雅	小崎 憲	井高牧場
5月9日	京都③	3歳500万下	ピンストライブ	牡	3	H.H. シェイク・モハメド	1400・ダート	1:24.4	川田 将雅	中内田 充正	ダーレー・ジャパン・ファーム
二王子特別											
5月9日	新潟①	4歳以上500万下	リノリオ	牡	4	錦岡牧場	1800・芝	1:47.0	丸田 恭介	西園 正都	錦岡牧場
5月9日	京都③	4歳以上1000万下	マイネルハルカゼ	牡	5	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1900・ダート	1:59.5	柴田 未崎	五十嵐 忠男	カミイスタット
5月10日	新潟①	3歳未勝利	グランアラミス	騾	3	岡田 牧雄	1200・ダート	1:12.6	大野 拓弥	古賀 史生	池田牧場
5月10日	京都③	3歳未勝利	サンクボヌール	牝	3	社台レースホース	1800・芝	1:48.2	松山 弘平	石坂 正	社台コーポレーション白老ファーム
5月10日	新潟①	4歳以上500万下	チャオ	牡	4	ヒガク・フリーダース・ユニオン	1800・ダート	1:53.9	杉原 誠人	古賀 慎明	下河辺牧場
ブリリアントハンデ											
5月10日	東京②	4歳以上1600万下	ドコフカゼ	牡	5	国分 純	2100・ダート	2:10.4	岩田 康誠	友道 康夫	ファニーフレインズファーム
日吉特別											
5月10日	東京②	4歳以上1000万下	コアレスキング	牡	5	小林 昌志	1400・ダート	1:25.0	吉田 豊	尾形 充弘	コアレススタッド
5月16日	東京②	3歳未勝利	ナナイロボタン	牝	3	社台レースホース	1600・ダート	1:39.3	C. ルメール	黒岩 陽一	社台コーポレーション白老ファーム
5月16日	京都③	3歳500万下	タキオンレディー	牝	3	宮内牧場	1200・ダート	1:11.1	加藤 祥太	柴田 光陽	宮内牧場
5月16日	東京②	3歳500万下	クワドルブル	牡	3	H.H. シェイク・モハメド	1400・ダート	1:24.6	蛭名 正義	小島 太	ダーレー・ジャパン・ファーム
彦根ステークス											
5月16日	京都③	4歳以上1600万下	ティーハーフ	牡	5	H.H. シェイク・モハメド	1200・芝	1:09.0	国分 優作	西浦 勝一	ダーレー・ジャパン・ファーム
都大路ステークス											
5月16日	京都③	4歳以上オープン	エイシンヒカリ	牡	4	栄進堂	1800・芝	1:45.7	武 豊	坂口 正則	木田牧場
5月17日	東京②	3歳未勝利	ヴァッハウ	牡	3	ラ・メール	1300・ダート	1:19.6	北村 宏司	田村 康仁	赤石 久夫
5月17日	新潟①	障害4歳以上未勝利	トミケンバシエンテ	騾	4	富樫 賢二	2890・芝	3:13.9	金子 光希	武市 康男	千葉飯田牧場
5月17日	京都③	4歳以上500万下	エンジェヌー	牝	4	H.H. シェイク・モハメド	1200・ダート	1:11.5	酒井 学	岡田 稲男	ダーレー・ジャパン・ファーム
栗東ステークス											
5月17日	京都③	4歳以上オープン	エイシンゴージャス	牝	4	栄進堂	1400・ダート	1:22.6	幸 英明	大久保 龍志	Robert A. Adams & Sheilah Adams
5月23日	東京②	3歳未勝利	ホッコーヴァール	牝	3	矢部 道晃	1400・ダート	1:26.5	北村 宏司	松永 康利	川端 正博
5月23日	新潟①	3歳未勝利	オーサムレジェンド	牡	3	社台レースホース	1800・ダート	1:55.1	城戸 義政	藤原 英昭	社台ファーム
5月23日	東京②	3歳未勝利	スターファセット	牝	3	吉田 照哉	1600・芝	1:34.6	宮崎 北斗	中川 公成	社台ファーム
5月23日	京都③	4歳以上500万下	ヴィンテージローズ	牝	4	吉田 勝己	1600・芝	1:33.7	小牧 太	橋口 弘次郎	ノーザンファーム
5月24日	新潟①	3歳未勝利牝	デシリジエンテ	牝	3	吉田 勝己	1600・芝	1:34.8	津村 明秀	木村 哲也	ノーザンファーム
5月24日	東京②	3歳未勝利	ヴェイルドスケール	牡	3	社台レースホース	1300・ダート	1:19.9	柴山 雄一	畠山 吉宏	社台ファーム
5月24日	新潟①	4歳以上500万下牝	フェアブルネージュ	牝	4	社台レースホース	1400・芝	1:21.4	鮫島 克駿	加用 正	社台コーポレーション白老ファーム
5月24日	東京②	4歳以上500万下	トレジャーマップ	牡	4	小林 正和	2000・芝	2:00.4	内田 博幸	石栗 龍彦	出口牧場
5月24日	新潟①	4歳以上500万下	フェンガリ	牡	4	一村 哲也	1800・ダート	1:54.0	義 英真	高橋 亮	岡田スタッド
烏丸ステークス											
5月24日	京都③	4歳以上1600万下	メドウラーク	牡	4	吉田 勝己	2400・芝	2:24.6	松山 弘平	橋田 満	ノーザンファーム
5月30日	東京②	3歳500万下	アルター	騾	3	吉田 勝己	2400・芝	2:25.6	柴山 雄一	古賀 慎明	ノーザンファーム
5月30日	東京②	4歳以上1000万下	クラシックメタル	牡	4	吉田 勝己	1600・ダート	1:37.8	L. オールプレス	二ノ宮 敬宇	ノーザンファーム
5月31日	東京②	3歳未勝利	ブリエアヴェニール	牡	3	岡田 牧雄	1800・芝	1:47.4	田辺 裕信	栗田 博憲	タイハイ牧場
5月31日	東京②	3歳500万下	マイアペーア	牡	3	社台レースホース	1400・芝	1:21.1	C. ルメール	矢作 芳人	社台ファーム
6月6日	東京③	3歳未勝利	キザシ	牡	3	フジワラ・ファーム	1300・ダート	1:18.5	武士沢 友治	小松山 悟	池田牧場
6月6日	阪神③	3歳未勝利	キングパール	牡	3	H.H. シェイク・ファハド	2200・芝	2:14.9	武 豊	中内田 充正	ノーザンファーム
メイクデビュー東京											
6月6日	東京③	2歳新馬	ペルソナリテ	牝	2	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1400・芝	1:23.9	丹内 祐次	相沢 郁	ビッグレッドファーム
6月6日	阪神③	3歳未勝利	アルティマブラッド	牝	3	社台レースホース	1400・芝	1:22.2	C. ルメール	音無 秀孝	社台ファーム
6月6日	阪神③	3歳以上500万下	エンキンドル	牡	4	H.H. シェイク・モハメド	2200・ダート	2:02.4	藤岡 康太	野中 賢二	ダーレー・ジャパン・ファーム
三木特別											
6月6日	阪神③	3歳以上1000万下	ヘミングウェイ	騾	5	H.H. シェイク・モハメド	1800・芝	1:47.3	福永 祐一	藤原 英昭	ダーレー・ジャパン・ファーム
6月6日	阪神③	3歳以上500万下牝	エイシンローリン	牝	4	栄進堂	1200・ダート	1:10.4	幸 英明	松永 昌博	城地 清満
6月7日	東京③	3歳未勝利牝	ラセレシオン	牝	3	社台レースホース	1600・ダート	1:37.7	柴山 雄一	藤沢 和雄	社台ファーム
6月7日	阪神③	3歳未勝利	トップリパティ	牡	3	宮内牧場	1400・ダート	1:25.1	松田 大作	鈴木 孝志	宮内牧場
6月7日	阪神③	障害3歳以上未勝利	マイネルピクトル	牡	4	サラブレッドクラブ・ラフィアン	2970・ダート	3:18.7	五十嵐 雄祐	菅原 泰夫	大典牧場
6月7日	東京③	3歳以上500万下牝	ボーjest	牝	4	吉田 勝己	1600・ダート	1:36.7	柴山 雄一	木村 哲也	ノーザンファーム
6月7日	阪神③	3歳以上500万下	ナインティルズ	牡	4	岡田 牧雄	2000・芝	2:00.7	幸 英明	中村 均	山田牧場
6月13日	阪神③	3歳以上500万下	エクストレミティー	牡	4	P.G. ファッジ	1800・ダート	1:52.3	幸 英明	梅田 智之	ノーザンファーム
6月13日	東京③	3歳以上500万下	ボトマックリパー	牡	3	吉田 勝己	2400・芝	2:24.7	北村 宏司	戸田 博文	ノーザンファーム
八王子特別											
6月13日	東京③	3歳以上1000万下	キネオイーグル	牡	4	吉田 千津	2100・ダート	2:12.2	戸崎 圭太	高柳 瑞樹	恵比寿興業株式会社那須野牧場
6月14日	阪神③	3歳未勝利	イレイション	牡	3	H.H. シェイク・モハメド	1600・芝	1:33.7	M. デムーロ	中内田 充正	ダーレー・ジャパン・ファーム
6月14日	東京③	3歳未勝利	エンクエントロス	牡	3	スリースターズレーシング	1600・芝	1:35.3	柴山 雄一	黒岩 陽一	対馬 正
6月14日	阪神③	3歳未勝利	ワーキングブライド	牝	3	社台レースホース	2000・芝	2:00.8	浜中 俊	岡田 稲男	社台コーポレーション白老ファーム
6月14日	東京③	3歳以上500万下牝	スールキートス	牝	3	日進牧場	1400・ダート	1:25.6	吉田 豊	矢野 英一	日進牧場

開催日	開催場	レース名・クラス	馬名	性別	会員名(レース時)	距離・馬場	タイム	騎手	調教師	生産者
第32回エプソムカップ (GⅢ) エイシンヒカリ 牡4 栄進堂 6月14日 東京③ 3歳以上オープン 1800・芝 武豊 坂口正則 木下牧場 タイム:1分45秒4(2着サトノアラジン)						 				
6月20日	阪神③	2歳未勝利	マイネルポールド	牡2	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1400・芝	1:23.2	川田 将雅	田所 秀孝	若林牧場
メイクデビュー阪神 6月20日 阪神③ 2歳新馬						エポック 牡2 吉澤 克己 1200・ダート 1:12.5 C.ルメール 角田 晃一 三嶋牧場				
6月20日	阪神③	3歳未勝利	マイネルレオーネ	牡3	サラブレッドクラブ・ラフィアン	2400・芝	2:29.0	C.ルメール	清水 久詞	真歌田中牧場
6月20日	函館①	3歳以上500万下	ダイヤモンドハイ	牝4	布施 光章	1200・芝	1:08.3	武豊	本田 優	三嶋牧場
駒ヶ岳特別 6月20日 函館① 3歳以上500万下						シーグレットパス 牡4 岡田 牧雄 2600・芝 2:38.7 木幡 初広 尾形 和幸 岡田スタッド				
ジューステークス 6月20日 東京③ 3歳以上1600万下						メドウラーク 牡4 吉田 勝己 2000・芝 2:00.2 田中 勝春 橋田 満 ノーザンファーム				
6月21日	函館①	3歳未勝利	マイネルライヒ	牡3	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1700・ダート	1:47.2	丹内 祐次	清水 英克	井高牧場
6月21日	東京③	3歳未勝利牝	トミケンチャダル	牝3	富樫 賢二	1400・ダート	1:25.8	田辺 裕信	武市 康男	服部牧場
メイクデビュー東京 6月21日 東京③ 2歳新馬						マイネルバサラ 牡2 サラブレッドクラブ・ラフィアン 1400・ダート 1:26.6 柴田 大知 松山 将樹 浜口牧場				
6月21日	函館①	3歳以上500万下	マイネルエスパス	牡3	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1200・芝	1:08.3	丹内 祐次	菊川 正達	木下牧場
第22回函館スプリントステークス (GⅢ) ティーハーフ 牝5 H.H.シェイク・モハメド 6月21日 函館① 3歳以上オープン 1200・芝 国分優作 西浦勝一 ダーレー・ジャパン・ファーム タイム:1分08秒3(2着アースソニック)						 				
第38回帝王賞 (Jpn I) ホッコータルマエ 牡6 矢部 道晃 6月24日 大井 4歳以上 2000・ダート 幸英明 西浦勝一 浦河町・市川ファーム タイム:2分02秒7(2着クリソライト)						 				
6月27日	阪神③	2歳未勝利	マイネルサグラ	牡2	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1600・芝	1:37.7	川田 将雅	中村 均	ビッグレッドファーム
6月27日	東京③	3歳未勝利	マイネルカレッツァ	牡3	サラブレッドクラブ・ラフィアン	2400・芝	2:28.7	柴田 大知	中館 英二	白井牧場
6月28日	函館①	3歳未勝利牝	パイレ	牝3	フジワラ・ファーム	1700・ダート	1:46.4	三浦 皇成	田中 清隆	フジワラファーム
6月28日	函館①	3歳未勝利	マイネルデアデビル	牡3	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1200・芝	1:10.5	丹内 祐次	栗田 博憲	北田 剛
6月28日	東京③	3歳未勝利	アメリカンゴールド	牡3	吉澤 克己	2100・ダート	2:12.8	北村 宏司	戸田 博文	Society Selection Syndicate
稲城特別 6月28日 東京③ 3歳以上500万下						マイネルリード 牡3 サラブレッドクラブ・ラフィアン 2400・芝 2:27.0 松岡 正海 萱野 浩二 ビッグレッドファーム				
奥尻特別 6月28日 函館① 3歳以上500万下						シベリアンタイガー 騾4 岡田 牧雄 1800・芝 1:50.5 黛 弘人 栗田 博憲 増本 良孝				
津軽海峡特別 6月28日 函館① 3歳以上1000万下						トミケンユークアイ 騾6 富樫 賢二 1700・ダート 1:42.8 吉田 隼人 和田 正道 バンブー牧場				
6月28日	東京③	3歳以上500万下	ニットウスバル	牡3	日東牧場	1300・ダート	1:18.1	柴田 善臣	高橋 文雅	日東牧場
7月4日	函館①	3歳未勝利牝	パパラグスマンボ	牝3	グランド牧場	1700・ダート	1:47.1	黛 弘人	藤原 辰雄	グランド牧場
7月4日	福島②	3歳未勝利	アンミ	牝3	武田 茂男	1150・ダート	1:09.2	戸崎 圭太	奥村 武	まるとみ富岡牧場
7月4日	函館①	3歳未勝利	インフェルノ	牡3	H.H.シェイク・モハメド	1700・ダート	1:46.7	池添 謙一	池添 兼雄	ダーレー・ジャパン・ファーム
メイクデビュー函館 7月4日 函館① 2歳新馬						レディトリス 牝2 北所 直人 1000・芝 0:58.3 柴山 雄一 高市 圭二 上水牧場				
メイクデビュー中京 7月4日 中京③ 2歳新馬						シュウジ 牡2 安原 浩司 1400・芝 1:22.5 小牧 太 橋口 弘次郎 浜本牧場				
メイクデビュー福島 7月4日 福島② 2歳新馬						ラッキーボックス 牝2 H.H.シェイク・モハメド 1200・芝 1:09.3 田辺 裕信 黒岩 陽一 ダーレー・ジャパン・ファーム				
7月4日	函館①	3歳未勝利	スクエアゴールド	牝3	吉田 照哉	1800・芝	1:49.5	岩田 康誠	藤原 英昭	社台ファーム
メイクデビュー福島 7月4日 福島② 2歳新馬						レディエントブルー 牝2 ブルーマネジメント 1150・ダート 1:11.3 北村 宏司 尾形 和幸 大島牧場				
7月4日	函館①	3歳以上500万下	ジョリアアップ	牝3	ヒガキ・フリーダーズ・ユニオン	1000・ダート	0:58.4	丸山 元気	斎藤 誠	大島牧場
御在所特別 7月4日 中京③ 3歳以上500万下						ストーンウェア 牡3 吉田 照哉 1600・芝 1:34.8 川田 将雅 吉田 直弘 Shadai Farm				
猪苗代特別 7月4日 福島② 3歳以上1000万下						ロワジャルダン 牡4 社台レースホース 1700・ダート 1:44.8 C.ルメール 戸田 博文 社台ファーム				

開催日	開催場	レース名・クラス	馬名	性別	年齢	会員名(レース時)	距離・馬場	タイム	騎手	調教師	生産者
TVh杯											
7月4日	函館①	3歳以上1600万下	ウキヨノカゼ	牝	5	國分純	1200・芝	1:09.1	四位 洋文	菊沢 隆徳	ファニーフレンズファーム
テレビュー福島賞											
7月4日	福島②	3歳以上1600万下	マイネルエテルネル	牡	5	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1200・芝	1:07.5	柴田 大知	西園 正都	Redpender Stud Ltd
洞爺湖特別											
7月4日	函館①	3歳以上1000万下	ゴールドアクター	牡	4	居城 要	2000・芝	2:02.0	吉田 隼人	中川 公成	北勝ファーム
7月5日	中京③	3歳未勝利牝	エイシンガイア	牝	3	栄進堂	1600・芝	1:37.3	幸 英明	野中 賢二	三嶋牧場
7月5日	福島②	3歳未勝利	アースエンジェル	牝	3	ヒガカ・フリーダース・ユニオン	1200・芝	1:08.8	C. ルメール	田中 剛	グランド牧場
7月5日	福島②	3歳未勝利	トミケンシエルフ	牡	3	富樫 賢二	1700・ダート	1:48.1	蛭名 正義	武井 亮	沖田牧場
7月5日	福島②	障害未勝利	マイネルゼーラフ	牡	4	サラブレッドクラブ・ラフィアン	2750・芝	3:00.4	山本 康志	清水 英克	上村 清志
メイクデビュー中京											
7月5日	中京③	2歳新馬	ロスカボス	牡	2	吉田 照哉	1600・芝	1:41.0	M. デムーロ	高野 友和	社台ファーム
メイクデビュー福島											
7月5日	福島②	2歳新馬	フルオプスターズ	牝	2	村田牧場	1200・芝	1:10.8	田辺 裕信	奥村 武	村田牧場
7月5日	福島②	3歳未勝利	コスモアルドラ	牡	3	岡田 繁幸	1800・芝	1:48.4	松岡 正海	水野 貴広	帰山 清貴
7月5日	福島②	3歳以上500万下牝	グリサージュ	牝	4	吉田 千津	1700・ダート	1:46.9	江田 照男	菊川 正達	社台ファーム
巴賞											
7月5日	函館①	3歳以上オープン	マイネルミラノ	牡	5	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・芝	1:46.5	丹内 祐次	相沢 郁	ビッグレッドファーム
7月5日	中京③	3歳以上500万下	アンナミルト	牝	4	社台レースホース	1200・ダート	1:10.5	M. デムーロ	小崎 憲	社台ファーム
7月11日	函館②	3歳未勝利牝	ストロベリーズ	牝	3	H.H. シェイク・モハメド	1200・芝	1:10.2	岩田 康誠	小島 太	ダーレー・ジャパン・ファーム
7月11日	福島②	障害・オープン	マイネルアダマス	牡	6	サラブレッドクラブ・ラフィアン	2750・芝	2:58.6	五十嵐 雄祐	菅原 泰夫	コスモビューファーム
メイクデビュー函館											
7月11日	函館②	2歳新馬	ペイシャオトメ	牝	2	北所 直人	1000・ダート	1:01.0	長岡 禎仁	竹内 正洋	梅田牧場
7月11日	福島②	3歳未勝利牝	フローラルダンサー	牝	3	岡田 牧雄	1150・ダート	1:09.8	戸崎 圭太	田島 俊明	若林牧場
7月11日	福島②	3歳以上500万下牝	ツインキャンドル	牝	4	下河辺牧場	1700・ダート	1:45.6	石川 裕紀人	手塚 貴久	下河辺牧場
噴火湾特別											
7月11日	函館②	3歳以上1000万下	ジョリーアップ	牝	3	ヒガカ・フリーダース・ユニオン	1000・ダート	0:58.0	丸山 元気	斎藤 誠	大島牧場
7月12日	中京③	2歳未勝利	デアリングエッジ	牝	2	社台レースホース	1600・芝	1:37.5	C. ルメール	河内 洋	社台ファーム
7月12日	中京③	3歳未勝利	ドラグーン	牡	3	H.H. シェイク・モハメド	1200・ダート	1:11.9	福永 祐一	藤原 英昭	ダーレー・ジャパン・ファーム
7月12日	中京③	障害3歳以上未勝利	メテオロ	牡	4	白井 岳	3000・芝	3:19.0	金子 光希	矢野 英一	白井牧場
メイクデビュー福島											
7月12日	福島②	2歳新馬	ルノートル	牡	2	吉田 照哉	1800・芝	1:50.2	M. デムーロ	和田 正一郎	社台ファーム
7月12日	中京③	3歳未勝利牝	ゴールドエッセンス	牝	3	吉田 勝己	2000・芝	2:03.4	川須 栄彦	友道 康夫	ノーザンファーム
第51回七夕賞 (GⅢ)											
グランデツツァ 牡6 社台レースホース											
7月12日 福島② 3歳以上オープン 2000・芝 川田 将雅 平田 修 社台ファーム タイム:1分58秒2(2着ステラウインド)											
											
											
かもめ島特別											
7月12日	函館②	3歳以上1000万下	ブランネージュ	牝	4	社台レースホース	1800・芝	1:51.2	藤岡 康太	藤岡 健一	追分ファーム
7月18日	函館②	3歳未勝利牝	ゴールドグローリー	牝	3	居城 要	1700・ダート	1:47.7	柴山 雄一	西村 真幸	北勝ファーム
メイクデビュー中京											
7月18日	中京③	2歳新馬	ラグアンドポップ	牡	2	H.H. シェイク・モハメド	1600・芝	1:39.7	鮫島 克駿	安田 隆行	ダーレー・ジャパン・ファーム
メイクデビュー福島											
7月18日	福島②	2歳新馬	デルマオカル	牝	2	浅沼 廣幸	1200・芝	1:11.8	横山 和生	古賀 史生	ファニーヒルファーム
7月18日	福島②	3歳未勝利	コスモアルヘナ	牡	3	ビッグレッドファーム	1800・芝	1:48.2	柴田 大知	武市 康男	昭和牧場
安達太良ステークス											
7月18日	福島②	3歳以上1600万下	ロワジャルダン	牡	4	社台レースホース	1700・ダート	1:43.7	横山 典弘	戸田 博文	社台ファーム
湯浜特別											
7月18日	函館②	3歳以上500万下	エイシンノーティス	牝	4	栄進堂	1800・芝	1:50.1	藤岡 康太	藤岡 健一	栄進牧場
7月18日	中京③	3歳以上500万下	オールブラッシュ	牡	3	社台レースホース	1800・ダート	1:51.4	C. ルメール	村山 明	社台コーポレーション白老ファーム
7月18日	福島②	3歳以上500万下	ウイングチップ	牡	3	社台レースホース	1800・芝	1:48.8	田中 勝春	宗像 義忠	社台ファーム
7月19日	函館②	2歳未勝利	コスモフレンチ	牡	2	ビッグレッドファーム	1200・芝	1:12.0	丹内 祐次	岩戸 孝樹	高橋 義浩
7月19日	福島②	3歳未勝利牝	コアラステューブル	牝	3	小林 昌志	2000・芝	2:02.1	木幡 初也	武井 亮	雅牧場
7月19日	中京③	3歳未勝利	ヘイムダル	牡	3	岡田 牧雄	1600・芝	1:35.4	川須 栄彦	宮 徹	谷川牧場
第51回函館記念 (GⅢ)											
ダービーフィズ 牡5 社台レースホース											
7月19日 函館② 3歳以上オープン 2000・芝 岩田 康誠 小島 太 社台ファーム タイム:1分59秒1(2着ハギノハイブリッド)											
											
											

開催日	開催場	レース名・クラス	馬名	性別	年齢	会員名(レース時)	距離・馬場	タイム	騎手	調教師	生産者
バーデンバーデンカップ 7月19日 福島② 3歳以上オープン			バーバラ	牝	6	ヒガカ・ブリーダーズ・ユニオン	1200・芝	1:07.9	石川 裕紀人	小崎 憲	キョクヤ牧場
メイクデビュー福島 7月25日 福島② 2歳新馬牝			ゲッカコウ	牝	2	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・芝	1:52.0	松岡 正海	高橋 義博	斉藤スタッフ
7月25日	函館②	3歳未勝利	トーカティヴ	牡	3	H.H. シェイク・モハメド	2000・芝	2:04.3	柴山 雄一	小島 太	ダーレー・ジャパン・ファーム
7月25日	福島②	3歳未勝利	グリーングリーン	牡	3	北所 直人	1150・ダート	1:08.8	江田 照男	大江原 哲	宝寿山 忠則
7月25日	中京③	3歳以上500万下	ブレイクアウト	牡	4	安原 浩司	1800・ダート	1:53.7	義 英真	本田 優	三嶋牧場
中京2歳ステークス 7月25日 中京③ 3歳以上オープン			シュウジ	牡	2	安原 浩司	1600・芝	1:36.0	小牧 太	橋口 弘次郎	浜本牧場
7月25日	福島②	3歳以上500万下	マリカ	牝	4	日進牧場	1150・ダート	1:08.3	江田 照男	本間 忍	日進牧場
7月26日	福島②	2歳未勝利	クナウ	牝	2	北島牧場	1200・芝	1:09.9	大野 拓弥	松山 将樹	北島牧場
7月26日	福島②	3歳未勝利	ペイシャピュア	牡	3	北所 直人	1150・ダート	1:09.3	伴 啓太	本間 忍	飯岡牧場
7月26日	中京③	障害3歳以上未勝利	コアレスドロード	牡	7	小林 昌志	3000・芝	3:18.2	難波 剛健	五十嵐 忠男	原田牧場
7月26日	函館②	3歳以上500万下	セクシーボーイ	牡	4	ヒガカ・ブリーダーズ・ユニオン	1000・ダート	0:58.2	岩田 康誠	伊藤 圭三	グランド牧場
7月26日	中京③	3歳以上500万下牝	ライトファンタジア	牝	3	吉田 勝己	2000・芝	2:02.5	川田 将雅	松田 博資	ノーザンファーム
香嵐渓特別 7月26日 中京③ 3歳以上1000万下			サンレーン	牝	5	H.H. シェイク・モハメド	1400・ダート	1:23.5	武 豊	西園 正都	ダーレー・ジャパン・ファーム
横手特別 7月26日 福島② 3歳以上1000万下			エイシンヴァラー	牡	4	栄進堂	1700・ダート	1:45.1	石橋 脩	中尾 秀正	栄進牧場
8月1日	新潟②	3歳未勝利	ヌーナ	牝	3	岡田 牧雄	1800・ダート	1:54.3	田辺 裕信	小島 茂之	Frank McEntee & Frankfort Park Farm
8月1日	小倉②	3歳以上500万下牝	ビートゴーズオン	牝	4	社台レースホース	1700・ダート	1:44.1	浜中 俊	鮫島 一歩	社台コーポレーション白老ファーム
8月1日	札幌①	3歳以上500万下牝	シンフォニア	牝	3	安原 浩司	1200・芝	1:08.9	四位 洋文	昆 貢	辻牧場
8月1日	新潟②	3歳以上500万下牝	ベストリーダー	牝	4	社台レースホース	1200・ダート	1:12.2	M. デムーロ	加藤 征弘	社台コーポレーション白老ファーム
伊万里特別 8月1日 小倉② 3歳以上500万下			プラチナコード	牡	3	ヒガカ・ブリーダーズ・ユニオン	1200・芝	1:08.2	浜中 俊	加用 正	岡本牧場
KBC杯 8月1日 小倉② 3歳以上1600万下			ランウェイワルツ	牡	4	下河辺牧場	1700・ダート	1:41.9	浜中 俊	音無 秀孝	下河辺牧場
8月2日	札幌①	2歳未勝利牝	ボーダレス	牝	2	H.H. シェイク・モハメド	1200・芝	1:10.1	横山 典弘	伊藤 圭三	ダーレー・ジャパン・ファーム
8月2日	小倉②	3歳未勝利	エイシンバランサー	牡	3	栄進堂	1000・ダート	0:57.8	松山 弘平	西園 正都	Adena Springs
8月2日	新潟②	3歳未勝利牝	コスモナオス	牝	3	ビッグレッドファーム	1800・ダート	1:56.0	柴田 大知	吉田 直弘	ビッグレッドファーム
メイクデビュー新潟 8月2日 新潟② 2歳新馬牝			ポーアムルーズ	牝	2	ヒガカ・ブリーダーズ・ユニオン	1400・芝	1:24.2	大野 拓弥	栗田 徹	服部牧場
8月2日	新潟②	3歳以上500万下	ロッカフェスタ	牡	3	社台レースホース	2000・芝	2:00.8	戸崎 圭太	田村 康仁	社台ファーム
道新スポーツ賞 セウアズール 牡4 吉田 照哉 8月2日 札幌① 3歳以上1000万下 1500・芝 福永 祐一 松田 博資 社台ファーム タイム:1分27秒7(2着エルゴレア)											
岩室温泉特別 8月2日 新潟② 3歳以上1000万下			アンナミルト	牝	4	社台レースホース	1200・ダート	1:11.5	M. デムーロ	小崎 憲	社台ファーム
大通特別 マイネルオフィール 牡3 サラブレッドクラブ・ラフィアン 8月2日 札幌① 3歳以上1000万下 1700・ダート 丹内 祐次 飯田 雄三 ノーザンファーム タイム:1分44秒2(2着コパノチャリー)											
8月8日	新潟②	3歳以上障害オープン	マイネルピクトル	牡	4	サラブレッドクラブ・ラフィアン	2850・芝	3:04.0	五十嵐 雄祐	菅原 泰夫	大典牧場
メイクデビュー札幌 ペイシャオブマーシ 牡2 北所 直人 8月8日 札幌① 2歳新馬 1200・芝 井上 敏樹 本間 忍 隆栄牧場 タイム:1分10秒6(2着キタサンコトブキ)											
8月8日	札幌①	3歳以上500万下	シップウ	騾	4	ヒガカ・ブリーダーズ・ユニオン	2400・ダート	2:35.7	吉田 隼人	伊藤 正徳	藤原牧場
ダリア賞 8月8日 新潟② 3歳以上オープン			ペルソナリテ	牝	2	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1400・芝	1:23.0	柴田 大知	相沢 郁	ビッグレッドファーム
8月9日	札幌①	2歳未勝利	スターオブペルシャ	牡	2	社台レースホース	1800・芝	1:50.3	C. ルメール	藤沢 和雄	社台ファーム
メイクデビュー小倉 8月9日 小倉② 2歳新馬			パールフューチャー	牡	2	H.H. シェイク・ファハド	1800・芝	1:50.2	川田 将雅	中内田 充正	鎌田 正嗣
8月9日	札幌①	3歳以上500万下牝	ファイトユアソング	牝	4	グランド牧場	1700・ダート	1:45.2	黛 弘人	藤原 辰雄	グランド牧場
8月9日	小倉②	3歳以上500万下牝	ブロンクスシルバー	牝	4	社台レースホース	1700・ダート	1:45.1	浜中 俊	吉田 直弘	社台ファーム
月岡温泉特別 8月9日 新潟② 3歳以上500万下			シュンドルボン	牝	4	下河辺牧場	1800・芝	1:45.9	田辺 裕信	矢野 英一	下河辺牧場

開催日	開催場	レース名・クラス	馬名	性別	年齢	会員名(レース時)	距離・馬場	タイム	騎手	調教師	生産者
慕進特別											
8月9日	新潟②	3歳以上1000万下	プリンセスムーン	牝	5	玉腰 勇吉	1000・芝	0:54.6	北村 友一	安田 隆行	三嶋牧場
8月15日	新潟②	2歳未勝利	コスモアルコン	牡	2	ビッグレッドファーム	1200・芝	1:09.6	柴田 大知	高橋 祥泰	嶋山 清貴
8月15日	札幌①	3歳未勝利	ディーエスフェイム	牡	3	秋谷 壽之	1000・ダート	0:58.9	三浦 皇成	藤原 辰雄	下河辺牧場
8月15日	新潟②	3歳未勝利	ハイヴォルテージ	牡	3	ヒガカ・フリーダース・ユニオン	1800・ダート	1:55.2	戸崎 圭太	藤原 辰雄	グランド牧場
8月15日	札幌①	3歳未勝利	モンドクラフト	牡	3	サンコウ牧場	1700・ダート	1:45.7	三浦 皇成	清水 英克	サンコウ牧場
8月15日	新潟②	障害3歳以上未勝利	ユキノスライダー	牡	5	遠藤 宗義	2850・芝	3:07.0	難波 剛健	高橋 義忠	川端 正博
メイクデビュー小倉											
8月15日	小倉②	2歳新馬	カジノスマイル	牝	2	井高 義光	1000・ダート	0:59.8	幸 英明	石橋 守	井高牧場
8月15日	小倉②	3歳以上500万下	アレット	騾	4	H.H.シェイク・モハメド	1000・ダート	0:58.0	川須 栄彦	岡田 稲男	ダーレー・ジャパン・ファーム
8月15日	札幌①	3歳以上500万下	モンドクラッセ	牡	4	サンコウ牧場	1700・ダート	1:43.1	三浦 皇成	清水 英克	サンコウ牧場
糸魚川特別											
8月15日	新潟②	3歳以上500万下	スモークフリー	牡	3	社台レースホース	2000・芝	1:59.5	M.デムーロ	戸田 博文	社台ファーム

コスモス賞

ラヴアンドポップ 牡2 H.H.シェイク・モハメド

8月15日 札幌① 2歳オープン 1800・芝 池添 謙一 安田 隆行
 ダーレー・ジャパン・ファーム タイム:1分51秒2 (2着 マイネルサグラ)



阿蘇ステークス

8月15日	小倉②	3歳以上オープン	ヴァンヌーヴォー	牡	6	H.H.シェイク・モハメド	1700・ダート	1:42.6	秋山 真一郎	角田 晃一	ダーレー・ジャパン・ファーム
8月15日	新潟②	3歳以上500万下	ヴァーノン	牡	4	日東牧場	1200・ダート	1:11.5	内田 博幸	高橋 文雅	日東牧場
8月16日	新潟②	2歳未勝利	グレートヒット	牡	2	黒川 哲美	1200・ダート	1:14.3	北村 宏司	武井 亮	ハツツ牧場
8月16日	小倉②	3歳未勝利牝	シームリー	牝	3	岡田 社史	1700・ダート	1:47.0	酒井 学	飯田 雄三	岡田スタッド

メイクデビュー新潟

8月16日	新潟②	2歳新馬	ディースプラネット	牝	2	秋谷 壽之	1600・芝	1:37.8	松岡 正海	藤原 辰雄	グランド牧場
8月16日	新潟②	3歳以上500万下	イントロダクション	牝	4	社台レースホース	1400・芝	1:21.0	M.デムーロ	鈴木 伸尋	社台ファーム
8月16日	札幌①	3歳以上500万下	アルテ	牡	4	フジワラ・ファーム	1800・芝	1:50.0	藤岡 康太	北出 成人	フジワラファーム
8月22日	札幌②	2歳未勝利	マダムグレアシオン	牝	2	ラ・メール	1200・芝	1:10.5	福永 祐一	矢作 芳人	飛野牧場
8月22日	札幌②	2歳未勝利	ペイシャフェリシタ	牝	2	北所 直人	1800・芝	1:53.0	勝浦 正樹	高木 登	友田牧場
8月22日	新潟②	3歳未勝利	パラダイスガーデン	牝	3	岡田 牧雄	1200・ダート	1:12.6	柴田 大知	栗田 博憲	Crossroads Farm LLC
8月22日	小倉②	3歳未勝利	デストリアー	牝	3	H.H.シェイク・モハメド	1700・ダート	1:44.4	川田 将雅	千田 輝彦	ダーレー・ジャパン・ファーム
8月22日	小倉②	3歳以上500万下牝	サンクボヌール	牝	3	社台レースホース	1800・芝	1:47.4	松山 弘平	石坂 正	社台コーポレーション白老ファーム
8月22日	小倉②	3歳以上500万下	エンジェヌー	牝	4	H.H.シェイク・モハメド	1000・ダート	0:58.0	浜中 俊	岡田 稲男	ダーレー・ジャパン・ファーム
8月23日	札幌②	3歳未勝利	クロイツェル	牡	3	社台レースホース	1700・ダート	1:47.0	C.ルメール	須貝 尚介	社台ファーム

メイクデビュー新潟

8月23日	新潟②	2歳新馬牝	サブルマインド	牝	2	社台レースホース	1600・芝	1:36.0	M.デムーロ	藤原 英昭	社台ファーム
8月23日	札幌②	3歳以上500万下	コスモキーマン	牡	3	ビッグレッドファーム	1000・ダート	0:58.7	丹内 祐次	粕谷 昌央	川越ファーム
8月23日	新潟②	3歳未勝利	ジャングルスコール	牝	3	吉田 勝己	2400・芝	2:28.5	北村 宏司	古賀 慎明	ノーザンファーム
8月23日	新潟②	3歳以上500万下	モルダバイト	騾	5	岡田 牧雄	1800・ダート	1:53.0	田中 勝春	新聞 幸一	土田農場
8月23日	札幌②	3歳以上500万下	シーリーヴェール	牡	4	社台レースホース	1700・ダート	1:45.7	福永 祐一	藤原 英昭	追分ファーム

出雲崎特別

8月23日	新潟②	3歳以上500万下	エイシニアロンジー	牡	4	栄進堂	2400・芝	2:27.5	内田 博幸	西園 正都	Knighton Hse Eadling Farm & Marengo
-------	-----	-----------	-----------	---	---	-----	--------	--------	-------	-------	-------------------------------------

第51回札幌記念 (GII)

ディサイファ 牡6 H.H.シェイク・モハメド

8月23日 札幌② 3歳以上オープン 2000・芝 四位 洋文 小島 太
 ダーレー・ジャパン・ファーム タイム:1分59秒0 (2着 ヒットザターゲット)



おおぞら特別

マリカ 牡4 日進牧場

8月23日 札幌② 3歳以上1000万下 1000・ダート 井上 敏樹 本間 忍
 日進牧場 タイム:58秒4 (2着 ランドクイーン)



8月29日	新潟②	2歳未勝利	パラノーマル	牝	2	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・芝	1:47.7	柴田 大知	水野 貴広	ビッグレッドファーム
8月29日	新潟②	3歳未勝利牝	クートネイ	牝	3	ビッグレッドファーム	1800・ダート	1:53.3	柴田 大知	伊藤 圭三	船越 伸也
8月29日	小倉②	3歳未勝利牝	ピエノフィオレ	牝	3	ヒガカ・フリーダース・ユニオン	1700・ダート	1:46.1	和田 竜二	大橋 勇樹	宮内牧場
8月29日	札幌②	3歳未勝利	ハナイチゲ	牝	3	ビッグレッドファーム	2000・芝	2:02.2	C.ウィリアムズ	鹿戸 雄一	沖田 博志

釜山ステークス

8月29日	小倉②	3歳以上1600万下	トミケンユークアイ	騾	6	富樫 賢二	1700・ダート	1:42.9	秋山 真一郎	和田 正道	パンブー牧場
-------	-----	------------	-----------	---	---	-------	----------	--------	--------	-------	--------

開催日	開催場	レース名・クラス	馬名	性別	年齢	会員名(レース時)	距離・馬場	タイム	騎手	調教師	生産者				
ポプラ特別 モンドクラッセ 牡4 サンコウ牧場 8月29日 札幌② 3歳以上1000万下 1700・ダート 三浦 皇成 清水 英克 サンコウ牧場 タイム:1分44秒8(2着メイショウスミトモ)															
8月30日	新潟②	3歳未勝利	エッケザックス	牡	3	社台レースホース	1800・ダート	1:51.2	北村 宏司	鹿戸 雄一	社台ファーム				
8月30日	札幌②	3歳未勝利牝	マラカイトスター	牝	3	本間 茂	1700・ダート	1:46.8	三浦 皇成	伊藤 伸一	斉藤スタッフ				
メイクデビュー新潟 8月30日 新潟② 2歳新馬							アンナトルテ	牝	2	ヒガカ・ブリーダーズ・ユニオン	1200・芝	1:11.0	北村 宏司	奥村 武	富菜牧場
8月30日	札幌②	3歳以上500万下	ディーエスコマンド	牡	5	秋谷 壽之	1700・ダート	1:45.3	三浦 皇成	藤原 辰雄	谷口牧場				
鳥栖特別 8月30日 小倉② 3歳以上500万下							ザトゥルーエアー	牡	4	ヒガカ・ブリーダーズ・ユニオン	2000・芝	1:59.6	幸 英明	高橋 義忠	林 孝輝
朱鷺ステークス 8月30日 新潟② 3歳以上オープン							ベステゲシェンク	牡	5	吉田 勝己	1400・芝	1:20.4	北村 宏司	古賀 慎明	ノーザンファーム
第10回キーンランドカップ (GII) ウキヨノカゼ 牡5 國分純 8月30日 札幌② 3歳以上オープン 1200・芝 四位 洋文 菊沢 隆徳 ファニーフレンズファーム タイム:1分08秒6(2着トーホウアマポーラ)															
9月5日	札幌②	2歳未勝利	ベルゼブブ	牡	2	スリースターズレーシング	1700・ダート	1:46.0	菱田 裕二	松永 康利	大作ステーブル				
9月5日	小倉②	2歳未勝利	フロムマイハート	牝	2	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・芝	1:48.6	高倉 稜	宮本 博	ビッグレッドファーム				
9月5日	小倉②	障害 3歳以上未勝利	スノードン	牡	6	H.H. シェイク・モハメド	2900・芝	3:16.7	高田 潤	安田 隆行	ダーレー・ジャパン・ファーム				
9月5日	札幌②	3歳以上500万下	ペンタトニック	牡	4	吉田 勝己	2000・芝	2:03.5	岩田 康誠	大久保 龍志	ノーザンファーム				
9月5日	札幌②	3歳以上500万下	トミケンシャルゴー	牡	3	富樫 賢二	1700・ダート	1:45.1	勝浦 正樹	和田 正一郎	豊洋牧場				
弥彦特別 9月5日 新潟② 3歳以上1000万下							シュンドルボン	牝	4	下河辺牧場	1800・芝	1:46.4	田辺 裕信	矢野 英一	下河辺牧場
9月6日	新潟②	3歳未勝利	コスモカンブ	牡	3	岡田 繁幸	1800・ダート	1:54.4	柴田 大知	奥平 雅士	鹿嶋牧場				
9月6日	札幌②	3歳未勝利	デュアルフレーム	牡	3	社台レースホース	1700・ダート	1:46.7	勝浦 正樹	杉浦 宏昭	社台ファーム				
メイクデビュー新潟 9月6日 新潟② 2歳新馬							マイネルラフレッシュ	牡	2	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・芝	1:50.0	柴田 大知	高橋 裕	ビッグレッドファーム
9月6日	小倉②	3歳以上500万下牝	ハビネス	牝	4	H.H. シェイク・モハメド	1200・芝	1:08.4	武 豊	千田 輝彦	ダーレー・ジャパン・ファーム				
第35回小倉2歳ステークス (GIII) シュウジ 牡2 安原 浩司 9月6日 小倉② 2歳オープン 1200・芝 岩田 康誠 橋口 弘次郎 浜本牧場 タイム:1分08秒9(2着サイモンゼーレ)															
雷光特別 9月6日 新潟② 3歳以上500万下							アースエンジェル	牝	3	ヒガカ・ブリーダーズ・ユニオン	1000・芝	0:55.4	M. デムーロ	田中 剛	ブランド牧場
9月12日	阪神④	2歳未勝利	リセエンヌ	牝	2	吉田 照哉	1800・芝	1:48.8	M. デムーロ	荒川 義之	社台ファーム				
9月12日	中山④	3歳未勝利	カレリア	牝	3	H.R.H. プリンセス・ハヤ	1200・ダート	1:12.3	井上 敏樹	黒岩 陽一	ダーレー・ジャパン・ファーム				
エニフステークス 9月12日 阪神④ 3歳以上オープン							エーシンビートルン	牡	9	栄進堂	1400・ダート	1:23.4	酒井 学	西園 正都	服部牧場
9月13日	中山④	2歳未勝利	マイネルパッセ	牡	2	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1200・芝	1:09.5	津村 明秀	萱野 浩二	ビッグレッドファーム				
メイクデビュー中山 9月13日 中山④ 2歳新馬							クレマンダルザス	牡	2	吉田 勝己	1800・ダート	1:57.3	蛸名 正義	松永 幹夫	ノーザンファーム
メイクデビュー中山 9月13日 中山④ 2歳新馬							コスモプロテア	牡	2	ビッグレッドファーム	1600・芝	1:38.0	柴田 大知	高橋 義博	ビッグレッドファーム
9月13日	阪神④	3歳以上500万下	インフェルノ	牡	3	H.H. シェイク・モハメド	1400・ダート	1:24.1	池添 謙一	池添 兼雄	ダーレー・ジャパン・ファーム				
夙川特別 9月13日 阪神④ 3歳以上1000万下							エイシンローリン	牝	4	栄進堂	1200・ダート	1:10.4	幸 英明	松永 昌博	城地 清満
木更津特別 9月13日 中山④ 3歳以上1000万下							イントロダクション	牝	4	社台レースホース	1600・芝	1:34.6	三浦 皇成	鈴木 伸尋	社台ファーム
西宮ステークス 9月13日 阪神④ 3歳以上1600万下							リメインサイレント	牝	5	社台レースホース	1800・芝	1:46.2	藤岡 康太	田中 章博	社台ファーム
9月13日	中山④	3歳以上500万下	プロファウンド	牡	4	H.H. シェイク・モハメド	1200・ダート	1:11.4	井上 敏樹	伊藤 圭三	ダーレー・ジャパン・ファーム				
メイクデビュー阪神 9月19日 阪神④ 2歳新馬							ピュアコンチェルト	牝	2	吉田 照哉	1400・芝	1:22.9	川田 将雅	田中 章博	社台ファーム
野路菊ステークス 9月19日 阪神④ 3歳以上オープン							ロスカボス	牡	2	吉田 照哉	1800・芝	1:47.8	M. デムーロ	高野 友和	社台ファーム
9月19日	中山④	3歳以上500万下牝	スノーレパード	牝	4	H.H. シェイク・モハメド	1200・ダート	1:11.0	田辺 裕信	黒岩 陽一	ダーレー・ジャパン・ファーム				
9月20日	阪神④	3歳未勝利牝	バイナリーコード	牝	3	社台レースホース	1800・ダート	1:55.0	C. ルメール	野中 賢二	社台ファーム				

開催日	開催場	レース名・クラス	馬名	性齢	会員名(レース時)	距離・馬場	タイム	騎手	調教師	生産者
瀬戸内海特別										
9月20日	阪神④	3歳以上1000万下	ラッポルツアート	牝3	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1400・芝	1:21.0	川田 将雅	西園 正都	ビッグレッドファーム
9月21日	阪神④	2歳未勝利	リッチーリッチー	牡2	ラ・メール	2000・芝	2:03.7	M. デムーロ	友道 康夫	N. Hartery
9月21日	中山④	2歳未勝利牝	ワンダブルラッシュ	牝2	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1600・芝	1:35.9	松岡 正海	手塚 貴久	様似共栄牧場
メイクデビュー阪神										
9月21日	阪神④	2歳新馬牝	カイザーバル	牝2	社台レースホース	1600・芝	1:35.3	M. デムーロ	角居 勝彦	社台ファーム
メイクデビュー阪神										
9月21日	阪神④	2歳新馬	マイネルアトゥー	牡2	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・ダート	1:56.7	松若 風馬	吉田 直弘	ビッグレッドファーム
浦安特別										
9月21日	中山④	3歳以上1000万下	ワディ	牝4	H.H. シェイク・モハメド	1200・ダート	1:10.4	川田 将雅	野中 賢二	ダーレー・ジャパン・ファーム
仲秋ステークス										
9月21日	阪神④	3歳以上1600万下	ダンスアミーガ	牝4	社台レースホース	1400・芝	1:21.1	池添 謙一	中竹 和也	社台ファーム
9月21日	中山④	3歳以上500万下	マイネルイルミナル	牡5	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・芝	1:49.0	柴田 大知	高木 登	富川田中山牧場
9月26日	中山④	2歳未勝利	マイネルファン	牡2	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・芝	1:49.2	柴田 大知	中野 栄治	ビッグレッドファーム
9月26日	中山④	3歳未勝利	ダイヤモンド	騾3	H.H. シェイク・モハメド	1800・ダート	1:52.6	田中 勝春	二ノ宮 敬宇	ダーレー・ジャパン・ファーム
9月26日	阪神④	3歳未勝利	ミステリーフリップ	牡3	吉田 照哉	1800・ダート	1:56.0	武 豊	笹田 和秀	社台コーポレーション白老ファーム
9月27日	阪神④	2歳未勝利	エイシギガント	牡2	栄進堂	1600・芝	1:35.7	松田 大作	中尾 秀正	松本牧場
メイクデビュー阪神										
9月27日	阪神④	2歳新馬	ロライマ	牡2	社台レースホース	2000・芝	2:05.2	C. ルメール	松田 国英	社台ファーム
メイクデビュー中山										
9月27日	中山④	2歳新馬	アメリカンハブン	牡2	吉澤 克己	2000・芝	2:05.5	岩田 康誠	戸田 博文	Bruce Smart

第12回レディスプレリユード (Jpn II) サンビスタ 牝6 ヒダカ・ブリーダーズ・ユニオン

10月1日 大井 3歳以上牝 1800・ダート 岩田 康誠 角居 勝彦
 グランド牧場 タイム:1分50秒2(2着トロワボヌール)



10月3日	阪神④	3歳未勝利	エイシンバライソ	牡3	栄進堂	1400・ダート	1:26.7	M. デムーロ	藤岡 健一	Liberation Farm & Brandywine Farm
10月3日	中山④	3歳以上500万下	キネオダンサー	牝4	吉田 千津	2200・芝	2:14.2	蛭名 正義	牧 光二	パカパカファーム
カンナスステークス										
10月3日	中山④	3歳以上オープン	ボーダレス	牝2	H.H. シェイク・モハメド	1200・芝	1:08.7	横山 典弘	伊藤 圭三	ダーレー・ジャパン・ファーム
10月3日	中山④	3歳以上500万下	チェリーサマー	牡3	櫻井 悦朗	1200・ダート	1:11.4	松岡 正海	小西 一男	イーストファーム
10月4日	中山④	2歳未勝利	ドウカンヤマ	牡2	一村 哲也	1200・ダート	1:11.1	蛭名 正義	高木 登	ハクツ牧場
10月4日	阪神④	3歳以上500万下	マイネリベルタス	牝4	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・芝	1:46.5	高倉 稜	宮本 博	ビッグレッドファーム
10月4日	中山④	3歳以上500万下	スターファセット	牝3	吉田 照哉	1600・芝	1:34.2	M. デムーロ	中川 公成	社台ファーム

兵庫特別										
10月4日	阪神④	3歳以上1000万下	ペンタトニック	牡4	吉田 勝己	2400・芝	2:28.3	幸 英明	大久保 龍志	ノーザンファーム

内房ステークス										
10月4日	中山④	3歳以上1600万下	モンドクラッセ	牡4	サンコウ牧場	1800・ダート	1:51.7	三浦 皇成	清水 英克	サンコウ牧場

第35回白山大賞典 (Jpn III) マイネルバイカ 牡6 サラブレッドクラブ・ラフィアン

10月6日 金沢 3歳以上 2100・ダート 柴田 大知 西村 真幸
 乾 皆雄 タイム:2分14秒9(2着エーシンモアオーバー)



10月10日	京都④	3歳以上500万下牝	シンダース	牝3	H.H. シェイク・モハメド	1400・ダート	1:24.5	M. デムーロ	荒川 義之	ダーレー・ジャパン・ファーム
10月10日	京都④	3歳以上500万下	ジェネラルゴジップ	牡3	社台レースホース	2000・芝	1:59.8	C. ルメール	平田 修	社台ファーム
久多特別										
10月10日	京都④	3歳以上1000万下	ベッラヴォーチェ	牝5	H.H. シェイク・モハメド	1400・芝	1:20.4	福永 祐一	野中 賢二	ダーレー・ジャパン・ファーム
10月11日	東京④	2歳未勝利	ジュアンマリエ	牝2	ヒダカ・ブリーダーズ・ユニオン	1400・ダート	1:27.3	戸崎 圭太	池上 昌弘	矢野牧場
10月11日	京都④	2歳未勝利	エキドナ	牝2	ラ・メール	2000・芝	2:02.3	幸 英明	山内 研二	小倉田 誠一
10月11日	東京④	2歳未勝利	アツサルーテ	牝2	吉田 勝己	1400・芝	1:22.4	C. ルメール	手塚 貴久	ノーザンファーム
10月11日	京都④	3歳以上500万下牝	マートンパーク	牝3	下河辺牧場	1200・ダート	1:12.8	鮫島 克駿	安田 隆行	下河辺牧場
10月11日	東京④	3歳以上500万下牝	ブルーボサノヴァ	牝4	ブルーマネジメント	1600・ダート	1:37.1	丸田 恭介	和田 雄二	川上牧場
10月11日	東京④	3歳以上500万下	マッチレスヒーロー	牡4	日進牧場	1600・ダート	1:37.6	横山 典弘	金成 貴史	日進牧場

第66回毎日王冠 (GII) エイシンヒカリ 牡4 栄進堂

10月11日 東京④ 3歳以上オープン 1800・芝 武 豊 坂口 正則
 木田牧場 タイム:1分45秒6(2着ディサイファ)



10月12日	東京④	2歳未勝利	スクエアフォールド	騾2	社台レースホース	1600・芝	1:35.3	内田 博幸	伊藤 圭三	社台ファーム
10月12日	京都④	3歳以上500万下	エイシンバックン	牡3	栄進堂	1200・ダート	1:11.8	酒井 学	中尾 秀正	栄進牧場

開催日	開催場	レース名・クラス	馬名	性別	年齢	会員名(レース時)	距離・馬場	タイム	騎手	調教師	生産者
オクトーバーステークス											
10月12日	東京④	3歳以上1600万下	ゴールドアクター	牡	4	居城 要	2400・芝	2:25.8	吉田 隼人	中川 公成	北勝ファーム
10月17日	東京④	2歳未勝利	イザ	牡	2	松田 整二	1400・ダート	1:25.5	高柳 瑞樹	三浦 皇成	白井牧場
10月17日	東京④	3歳以上500万下	ステージジャンプ	牡	5	小林英一ホールディングス	2100・ダート	2:09.2	岩戸 孝樹	柴山 雄一	ノーザンファーム
10月17日	京都④	3歳以上500万下	チーフアセスメント	牡	4	社台レースホース	1200・ダート	1:11.2	五十嵐 忠	武 豊	社台コーポレーション白老ファーム
10月17日	新潟①	3歳以上500万下	ゴールドリーガル	牡	4	居城 要	1800・ダート	1:52.4	高市 圭二	木幡 初也	北勝ファーム
瓢湖特別											
10月17日	新潟①	3歳以上500万下	トレジャーマップ	牡	4	小林 正和	2200・芝	2:13.1	石栗 龍彦	丸山 元気	出口牧場
10月17日	東京④	3歳以上1000万下	ニットウスバル	牡	3	日東牧場	1300・ダート	1:16.7	高橋 文雅	柴田 善臣	日東牧場
10月18日	新潟②	3歳以上500万下牝	ビジューミニオン	牝	3	社台レースホース	1800・ダート	1:53.2	吉村 圭司	加藤 祥太	社台ファーム
10月18日	京都⑤	3歳以上1000万下	ガリバルディ	牡	4	社台レースホース	1600・芝	1:32.7	藤原 英昭	M. デムーロ	社台ファーム
粟島特別											
10月18日	新潟②	3歳以上500万下	ワーキングブライド	牝	3	社台レースホース	2000・芝	1:59.9	岡田 稲男	菱田 裕二	社台コーポレーション白老ファーム
烏屋野特別											
10月18日	新潟②	3歳以上500万下	コスモドーム	牡	4	ビッグレッドファーム	1200・芝	1:09.0	金成 貴史	伊藤 工真	ビッグレッドファーム
藤森ステークス											
10月18日	京都⑤	3歳以上1600万下	デルマヌマリヒョン	牡	5	浅沼 廣幸	1200・ダート	1:11.5	古賀 史生	太宰 啓介	ファニーヒルファーム
10月24日	新潟③	2歳未勝利	コスモヴェッキオ	牡	2	岡田 繁幸	1800・芝	1:50.0	小笠 倫弘	丹内 祐次	コスモヴェューファーム
10月24日	京都⑥	3歳以上500万下	グランディフローラ	牝	3	社台レースホース	2200・芝	2:12.5	中村 均	C: デムーロ	社台ファーム
アイビーステークス											
10月24日	東京⑥	3歳以上オープン	マイネルラフレシア	牡	2	サラブレッドクラブ・ラフィアン	1800・芝	1:48.4	高橋 裕	柴田 大知	ビッグレッドファーム
10月25日	京都⑦	2歳未勝利	サラザン	牡	2	社台レースホース	1800・芝	1:47.7	須貝 尚介	M. デムーロ	社台ファーム
メイクデビュー京都											
10月25日	京都⑦	2歳新馬牝	アットザサイド	牝	2	吉田 照哉	1400・芝	1:22.0	浅見 秀一	福永 祐一	社台ファーム
10月25日	新潟④	3歳以上500万下	エイシンバランサー	牡	3	栄進堂	1200・ダート	1:12.1	西園 正都	鮫島 克駿	Adena Springs
10月25日	京都⑦	3歳以上500万下	エイシンラナウェー	牡	4	栄進堂	1200・ダート	1:11.2	西園 正都	M. デムーロ	BryLynn Farm Inc.
10月25日	新潟④	3歳以上500万下牝	アースプレイ	牝	4	松山 増男	1200・芝	1:09.4	宗像 義忠	伊藤 工真	ガーベラパークスタッド
甲斐路ステークス											
10月25日	東京⑦	3歳以上1600万下	シュンドルボン	牝	4	下河辺牧場	1800・芝	1:47.3	矢野 英一	吉田 豊	下河辺牧場
桂川ステークス											
10月25日	京都⑦	3歳以上1600万下	エイシンブルズアイ	牡	4	栄進堂	1200・芝	1:08.1	野中 賢二	福永 祐一	Elijah Bailey
ブラジルカップ											
10月25日	東京⑦	3歳以上オープン	ドコフクカゼ	牡	5	國分 純	2100・ダート	2:10.6	友道 康夫	石川 裕紀	ファニーフレンズファーム

新計画に期待

5年前からスタートした新規5ヶ年計画（通称・北海道競馬推進プラン）の最終年度にあたる今シーズンの門別グランシャリオナイターの年初予算は、総発売目標約149億円（前年計画比6・2%増）で4月22日（水）に開幕しました。

今年は、前年度末時点で、道内場外発売所で最多の発売額を誇る「Aiba札幌駅前」が同所（パチンコひまわり札幌駅前タワー店5F・6F）での営業を終了する見込みとなったことや、昨年まで昼間開催だった南関東・船橋競馬が今年6月からナイター開催となることなどが考慮され、前年比マイナス予算が編成された訳ですが、シーズンが開幕すると、主催者の心配をよそに全日程（80日間）の8割余にあたる計65日間を消化した時点の総発売額は約118億1千万円。当初予算比で約111・8%、前年実績比でも約105・5%と、2年連続で前年度を上回る単年度黒字を確保できそうな勢いで推移しています。

そうした動きの中でかつてバブル期に道議会で定められた「基金条例」を再活用する方針も決まっています。すなわち、競馬事業での黒字の一部をいったん基金に積むことで、施設改善をはじめとする「ホッカイドウ競馬の魅力創出・拡大」への「前向き投資」や、再び経営不振に陥っ



内回りコースの4角。騎手の仕掛け処は確実に変わって、レースに変化が出た

てしまった場合等への備えとして活かしていただける仕組みが整いつつある状況となってきました。この秋から冬にかけて「馬産地競馬の持続的発展」に寄与するための新たな短・中期計画も策定される見込み。馬産地ホッカイドウ競馬の経営状況がさらに盤石なものとなるような「新計画」は大いに注目されそうです。

好調！内回りコース

「競馬シーン」に視点を移してみると、今季最大のトピックスといえ

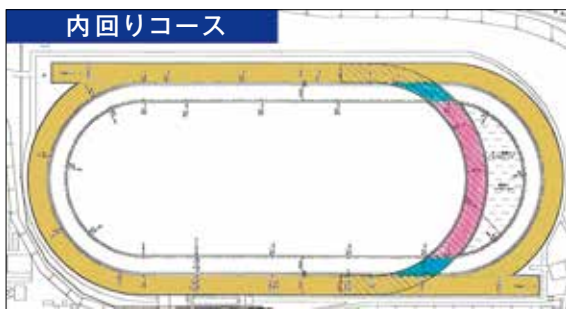
ば、昨シーズン終了と前後して整備が始まり、開幕直前にやっと竣工した「内回りコース新設」でしょう。内回りコースが新設されたことで、競馬の根幹距離ともいえる1500mおよび1600mの施行が可能になりました。現段階ではナイター照明等が設置されていないために、使

えるのは日没前までの時間帯に限られていましたが、ホッカイドウ競馬（道農政部・競馬事業室、一般社団法人北海道軽種馬振興公社）では1600mの重賞を積極的に組むな

道 営 だ よ り

写真・文／ホッカイドウ競馬支援室 神谷健介

どして、全国のファンや、関係者らに向けてもその意義を強くアピールしました。結果的に、内回りの新設重賞を日没前に組んだ開催日には発売額のピークが「二度」現れる等の効果も確認されたことで、現在は「内回りコースのナイター対応化」に向け、財政当局等と折衝を重ねている状況ということ（執筆時点）。さらなる整備が進み、昼夜を問わない全日対応となることで「内回り新設効果」が一層、高まっていくのは必至。来シーズン以降のさらなる人氣向上、発売額アップに貢献することになるでしょう。



2歳馬流出に歯止め

ほかでは特に2歳戦における「出走手当の増額」が挙げられます。2

年続けて単年度黒字を達成したことで、低水準にあった2歳馬の出走手当が段階的に増額され、今年度は「8万円」まで引き上げられたのです。その効果は各オーナーが愛馬をデビューさせて以降に実感するケースが多かったようで、複数の調教師から「今年は出走手当がグッと上がったので、早い時期に他地区へと出て行く馬が格段に少なくなった」との声も聞かれたほど。ホッカイドウ競馬では「2歳馬の充実」が運営状況を大きく左右する要素となってくるだけに、来季以降も引き続き増額トレンドで推移していけば、さらなる活況を呈する可能性も高まることでしょう。主催者の判断に、馬主サイドはもちろん、オーナーブリーダーの多い日高・胆振地方の各馬産地でも大きな関心が寄せられることになりそうです。

さらなる高みを目指して

終盤に差し掛かってきた今シーズンも、残り1カ月という時点で計画比111%を超える数字を保っているホッカイドウ競馬。確保した黒字を最大限、有効に活用し、競馬番組はじめ施設面やファンサービス、全国に向けた効果の高い情報発信等々を途切れることなく充実させていくことで、さらに全国のファンの関心を惹きつけることができるのか。運営サイドの手腕が本当に試されるのは、これからと言えるでしょう。

札幌、函館開催の有効利用を要望

一般社団法人札幌馬主協会は、8月2日、同函館馬主協会（庄野昭彦会長）との連名で、後藤正幸JRA日本中央競馬会理事長、ならびに植田克己札幌競馬場場長、下平洋一函館競馬場場長に対し、北海道シリーズの充実が中央競馬

の更なる発展につながるものとして開催日数の増加、グレード競走の格上げ、及び新設などの要望書を提出した。下河辺会長は「英国のニューマーケットや仏国のドーヴィル、米国のサラトガなど夏のリゾート

競馬はGIレースと市場がセットで行われるのが世界の主流。日本もそうあってほしいし、それが競馬と馬産をよりいっそうに盛り上げると思う」と要望書を手渡した。

要望事項

1. 北海道シリーズの開催日数の拡大

○開催日数を現行の「4開催24日間」から「4開催32日間」に戻し、北海道シリーズを充実していただきたい

2. 国内外の競馬ファンに対し魅力ある番組編成と施設の有効活用を図り、馬産地北海道として特色ある競馬の開催

○夏季競馬の最高峰のグレード競走として札幌記念をGIに昇格していただきたい

○函館開催にグレード競走の新設をしていただきたい

○北海道シリーズでの充実した競馬施行のために、開催期間中、札幌・函館両施設の厩舎及びトレーニング施設を全面開放し、出走馬の確保をしていただきたい

○札幌競馬場のセリ機能のさらなる有効活用

平成27年8月2日

一般社団法人札幌馬主協会
会長 下河辺 俊

一般社団法人函館馬主協会
会長 庄野 昭彦



後藤理事長（左奥）
植田場長に要望書を
手渡す下河辺会長

会員の異動

平成27年4月21日から10月25日までの異動について、お知らせいたします。

入会者



H.H.
シェイク・
ファハド



竹谷正義氏
札幌市豊平区



永見貴昭氏
札幌市西区



(株)アフロ・El Passo
小阪優友氏
東京都目黒区



タカミツ(株)
高橋光雄氏
札幌市中央区



幡有氏
帯広市



平澤孝氏
東京都小平市

代表者変更



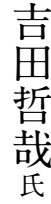
(株)ブルーマネジメント
梁川勝広氏



(有)社台レースホース
吉田哲哉氏

退会者

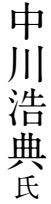
次の方が退会されました。在籍中のご協力に感謝します。



吉田哲哉氏



小阪優友氏



(有)賀張中川牧場
中川浩典氏

おくやみ

次の方が逝去されました。謹んで哀悼の意を表しますとともに心からの冥福をお祈り申し上げます。



遠藤宗義氏(85)
平成27年10月16日逝去
(札幌市北区)

昭和50年に入会された当協会相談役の遠藤宗義氏が10月16日、逝去されました。ここに謹んで冥福をお祈り申し上げます。



清水清志氏(87)
平成27年8月18日逝去
(様似町)

◆編集後記

- ・「北の蹄跡」第4号(通巻第57号)をお届けいたします。
スタンド改築後2度目の札幌競馬は、前年より2日間短い「2開催12日間」でおこなわれましたが、前年に引き続き大勢の競馬ファンでにぎわい、会員の愛馬が多く出走し更に、ワールドオールスタージョッキーズ(WASJ)が開催され、世界や国内で活躍している騎手の技術に酔いしれ活気あふれる開催となりました。表紙写真は優勝ジョッキーのモレイラ騎手です。
- ・今号では札幌開催やトレーニングセール等のセリを振り返るとともに、特集は馬の血統に関する著書を執筆されている笠雄二郎氏に「血統の基礎と、私のセオリ―」と題し次号に渡りご寄稿いただきます。
- ・会員勝馬の紹介は、本誌「北の蹄跡」となってから重賞競走の写真も組み入れてコンパクトにまとめ、「函館・札幌」の北海道シリーズでは、引き続き「特別レース」以上で写真を掲載いたしました。
- ・総務・広報委員会では、会員の皆様に親しまれ、馬主活動に役立てられるような会報づくりに努めてまいりますので、ご要望やご意見をお寄せいただくなど会員の皆様のご協力をお願いいたします。

総務・広報委員会 委員長 谷川利昭
副委員長 伊藤佳幸
委員 三好吉男
木村 貢
小林正和

◆事務局から

- ・札幌競馬開催期間を通じ昨年に続き馬主席数を越えるお申込みをいただき、馬主・役員エリアは、当協会と全国9単協の馬主・ご同伴者の皆様で大変にぎわい、通行章でお入りいただくなどご協力いただきました。
- また、昨年に引き続き、ピュウフェ方式によるお食事の提供を行い大きな問題もなく終えましたことは、ご利用いただいた馬主様はじめご来場くださった皆様のご協力によるものでした。事務局一同感謝申し上げます。
- ・他場の馬主席の手配などについて、ご不明な点、ご意見などはお気軽に事務局にご連絡いただけますとともに、札幌競馬場へお越しの際は事務所にお立ち寄りくださいますようお願いいたします。(佐藤、嶋田、水上)

「北の蹄跡」(通巻第57号)

2015年11月30日発行
発行：一般社団法人 札幌馬主協会
編集発行人：下河辺俊行
〒060-0016
札幌市中央区北16条西16丁目1-1
TEL 011(726)0461

企画・編集：(株)道新スポーツ 馬事通信編集室
編集協力：源草社
デザイン：Den Design
印刷：株式会社上野印刷所
表紙・札幌競馬場写真：©日本中央競馬会
本誌掲載の写真および記事等の無断掲載を禁じます。

一般社団法人 札幌馬主協会
「北の蹄跡」(通巻第57号)

平成27年11月30日発行
編集発行人 下河辺俊行
一般社団法人 札幌馬主協会
〒060-0016
札幌市中央区北16条西16丁目1-1
TEL 011(726)0461



WORLD ALL-STAR JOCKEYS 2015